

令和2年度の目標値達成状況（KPIシート）

・ 数値目標(P)に対する客観的評価の方法	:	1	ページ
・ 令和2年度 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧	:	2	ページ
・ 農業分野	:	3 ~ 7	ページ
・ 林業分野	:	8 ~ 9	ページ
・ 水産業分野	:	10 ~ 12	ページ
・ 商業分野	:	13 ~ 16	ページ
・ 工業分野	:	17 ~ 19	ページ
・ 観光分野	:	20 ~ 24	ページ
・ サイクリング専門委員会	:	25 ~ 30	ページ
・ 住宅分野	:	31 ~ 34	ページ

数値目標(P)に対する客観的評価の方法

達成状況を客観的に評価できる目標について、以下の4段階評価を実施。

区分	評価基準	
A		<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値目標を達成したもの → 達成率 100%以上 ・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成したもの
B	年度の数値目標と実績値を比べ、数値を改善、もしくは維持できたもの、又は状況を改善できたもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値目標をほぼ達成したもの → 達成率 60%以上100%未満 ・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標をほぼ達成したもの
C		<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値目標の達成にむけて十分な進展が見られなかったもの → 達成率 60%未満 ・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成できなかったもの 又は、進展・改善が見られなかったもの
-		-

◆ 第2期香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標』一覧

【農業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備考【数値の根拠等】
新規就農者数(人/年)	目標値	10	10	10	10	10	50		高知県中央東農業振興センターが毎年公表する新規就農者数(前年度実績)
	実績値	10					10		
	評価	A							
【林業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備考【数値の根拠等】
間伐面積(ha)	目標値	25	30 →40	35 →40	45	50	185 →200		緊急間伐総合支援事業と森林管理制度間伐委託業務の合計値
	実績値	25.4					25.4		
	評価	A							
【水産業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備考【数値の根拠等】
沿岸漁業総生産額 (百万円/年)	目標値	285	290	295	300	305	1,475		高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額
	実績値	290					290		
	評価	A							
【商業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備考【数値の根拠等】
事業者数 (事業所/年)	目標値	813	814 →再設定 を予定	815 →再設定 を予定	816 →再設定 を予定	817 →再設定 を予定	817 (延べ) →再設定を 予定		香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF~O・Q・Rに分類される事業所数
	実績値	779							
	評価	C							
新規事務系企業数 (企業/年)	目標値	2	2	2	2	2	10 (累計)		香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数
	実績値	1							
	評価	C							
【工業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備考【数値の根拠等】
製造品出荷額 (億円/年)	目標値	360	380	400	420	440	2,000		工業統計調査 (調査年は前年度の製造品出荷額)
	実績値	344					344		
	評価	B							
新規雇用者数 (人/年)	目標値	5	8	19	16	15	63		市内立地企業に新たに雇用された市在住の人数 ※立地企業の事業計画に基づく予定雇用者数の内、現在雇用している方を差し引いた人数の半数以上が地元雇用者と仮定し、地元雇用者数の70%を見込んだもの。
	実績値	20					20		
	評価	A							
【観光分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備考【数値の根拠等】
観光施設入込客数 (万人)	目標値	107	110	114	117	121	569		観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。 (暦年1-12月の合計) 【対象10施設】 ①県立のいち動物公園 ②月見山子どもの森 ③ヤ・シィパーク ④絵金蔵 ⑤天然色市場 ⑥やすらぎ市 ⑦あぐりのさと ⑧黒潮温泉 ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩土佐カントリークラブ
	実績値	90.7					90.7		
	評価	B							
【サイクリング分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備考【数値の根拠等】
サイクルイベント・大会 参加者数 (人)	目標値	500 →580	720 →780	840 →850	960 →920	1,130 →1,040	4,150 →4,170		下記イベント・大会参加者数 【対象イベント・大会】 ① 三宝山ヒルクライム ② ツール・ド・トレイン ③ ボタリング ④ ヤンシククロスカップ ⑤ 3市ロングライド (R3より) ⑥ 健康サイクリング
	実績値	106					106		
	評価	C							
サイクル サポーター数 (団体)	目標値	10	5	5	5	5	30		イベント開催時に、サポートスタッフや出店等をもって取り組む実働をもった参加型サポーター制度を構築予定であり、自転車利用促進に参画し、実際に活動してもらえる事業所・団体を対象。
	実績値	6					6		
	評価	B							
【住宅分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備考【数値の根拠等】
-	目標値	-	-	-	-	-	-	-	-

数値目標1	年度	基準値 (R0年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (累計)	5年間の達成 (達成度合)	備考
新規就農者数 (人)	目標値	15	10	10	10	10	10	50		高知県中央東農業振興センターが毎年公表する新規就農者数（前年度実績） ※市内の耕作放棄地のうち、再生可能な耕作放棄地の年間増加面積（過去7年の平均）を香南市の産地提案型7品目の経営モデル面積の1品目（1人当たり）の平均面積で割り出し算出。
	実績値	9	10							
	達成 (評価)	B	A							

■取り組みの内容について

【R2年度の総括】

新型コロナウイルス感染症の影響により「担い手確保に向けた取り組み」の実施はできなかったが、コロナ禍で農業への転職等を検討する方も多く、相談件数は28件であり、うち就農が決まった方は14件となった。
(※R2の実績値は高知県中央東農業振興センターが毎年公表する前年度の新規就農者数のため10人となっている。)

新規就農者の状況を把握するため高知県中央東農業振興センターやJA高知県と連携をとり、サポート体制の充実を図ってきたこともあり、新規就農者の数は順調に伸びていることに加え、各作物の収量・品質共に上がってきている。
しかし、コロナ禍の影響や市場価格の低下で販売額が伸びず厳しい状況に至る方も居る。

人・農地プランの実質化は全地区完了することができた。
各地域の課題がどのようなものなのかが整理できたことから、今後は、各地域で課題解決に向けた取り組みを行えるような組織づくりを進める等、引き続き会合等を開催していく。

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	事業内容	目標値							A/B/C		
担い手確保に向けた取り組み	◆ 担い手確保に向けた取り組み											
	新規・拡大・継続											
	1. 農業次世代人材投資事業(準備型) 【補助交付人数(人)】		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
			目標値	-	1	1	1	1	1		JA高知県、高知県中央東農業振興センターとの情報共有や広報の掲載を行っていく。また、時期は未定であるが、東京・大阪で開催される「新・農業人フェア」や「高知暮らしフェア」への参加や11/20に高知市にあるアグリコレットで開催が予定されている就農相談会へ参加し、当事業へと繋げていく。	
			実績値	-	0							
			達成(評価) (C)	-	C							
	【実施主体】 高知県		次世代を担う農業者となることを志向し、就農に有効であると認める研修を実施する研修機関(農業大学校等)において農業経営育成教育研修を受ける者に対して当補助金を交付する。 ※ 高知県による直接交付事業。									
	【連携する分野】 -		R2年度の具体的な事業内容 (P) (D) 就農相談は将来的な相談が多く、即研修・就農にはならなかった。 ※R3年度の交付予定者は2名。 新型コロナウイルス感染症の影響により毎年参加していた県内外での就農相談会に参加できなかったこと等も影響される。									
	(※当事業は就農前の支援)											
	新規・拡大・継続											
2. 農の雇用事業 【補助交付人数(人)】		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
		目標値	-	1	1	1	1	1		JA高知県、高知県中央東農業振興センターとの情報共有や広報の掲載を行っていく。また、時期は未定であるが、東京・大阪で開催される「新・農業人フェア」や「高知暮らしフェア」への参加や11/20に高知市にあるアグリコレットで開催が予定されている就農相談会へ参加し、当事業へと繋げていく。		
		実績値	-	0								
		達成(評価) (C)	-	C								
【実施主体】 高知県農業会議		農業法人等が、新規就農者や被災農業者を雇用し、技術・経営ノウハウ等を習得させるために研修を実施したり、職員等を次世代の経営者として育成するために、国内外の先進的な農業法人や異業種の法人へ派遣して、雇用就農者の確保及び育成を図る。 ※高知県による直接交付事業。										
【連携する分野】 -		R2年度の具体的な事業内容 (P) (D) 補助金の継続交付者1名であったが、新規の雇用者は0名であった。(※実績値は新規の数のため0名) 新型コロナウイルス感染症の影響により、出荷制限や値崩れ等もあり、雇用控えが原因と考えられる。										
(※当事業は就農前の支援)												
新規・拡大・継続												
3-1. 担い手支援事業 (専業農家育成支援区分) 【補助交付人数(人)】		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
		目標値	4	4	4	4	4	4		JA高知県、高知県中央東農業振興センターとの情報共有や広報の掲載を行っていく。また、時期は未定であるが、東京・大阪で開催される「新・農業人フェア」や「高知暮らしフェア」への参加や11/20に高知市にあるアグリコレットで開催が予定されている就農相談会へ参加し、当事業へと繋げていく。		
		実績値	4	0								
		達成(評価) (C)	A	C								
【実施主体】 高知県 香南市		産地提案書及び香南市基本構想に基づく品目を栽培する専業農家を目標し、高知県知事が就農に有効であると認める研修を実施する研修機関等及び農の雇用事業を活用する農業法人等で研修を受ける者に対して高知県及び香南市が補助する事業。 ※ 農業次世代人材投資事業(準備型)及び農の雇用事業の上乗せ事業。 ※ 農業次世代人材投資事業(準備型)の対象外となる年齢の者も対象となる。 (15歳以上65歳未満) R2:香南市広報掲載への掲載による制度の周知。 合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金、農地等の課題に対応する。										
【連携する分野】 -		R2年度の具体的な事業内容 (P) (D) 就農相談は将来的な相談が多く、即研修・就農にはならなかった。 ※R3年度の交付予定者は2名。 新型コロナウイルス感染症の影響により毎年参加していた県内外での就農相談会に参加できなかったこと等も影響される。										
(※当事業は就農前の支援) (※ 1.農業次世代人材投資事業 準備型とリンクする)												

担い手確保に向けた取り組み	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
	3-2. 担い手支援事業 (後継者育成支援区分) 【補助交付人数(人)】	目標値	3	3	3	3	3	3	3		JA高知県、高知県中央東農業振興センターとの情報共有や広報の掲載を行っていく。 また、時期は未定であるが、東京・大阪で開催される「新・農業人フェア」や「高知暮らしフェア」への参加や11/20に高知市にあるアグリコレットで開催が予定されている就農相談会へ参加し、当事業へと繋げていく。
		実績値	0	2							
		達成(評価) (C)	C	B							
【実施主体】 高知県 香南市	【連携する分野】 - (※当事業は就農前の支援)	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	農家子弟を県外等からUターン就農させ、経営体の後継者として育成を行う認定農業者等に対して補助を行う。 R2 : 香南市広報掲載への掲載による制度の周知。 合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金農地等の課題に対応する。 【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により毎年参加していた県内(イオンモール)での就農相談会が中止になったが、広報やJA高知県香美支部、高知県中央東農業振興センターと連携しチラシを作成し周知を図る対応に努めた結果、2名の交付へ繋がっている。 ※補助交付者内訳 : トマト1名、みかん1名。								
新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
4. 農業次世代人材投資事業(開始型) 【補助金の新規交付人数(人)】		目標値	10	4	4	4	4	4	4		JA高知県、高知県中央東農業振興センターと連携し広報等で周知を図っていく。 関係機関と継続者の営農支援(就農状況確認等)をしていく。 農業大学校、農業担い手育成センターとの連携し情報を収集しながらPR用チラシを配布する。
	実績値	13	6								
	達成(評価) (C)	A	A								
【実施主体】 高知県 香南市	【連携する分野】 - (※当事業は就農後の支援)	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し当補助金を交付し、青年就農者の確保及び育成を図る。 R2 : 香南市広報掲載への掲載による制度の周知。 合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金農地等の課題に対応する。 【R2年度】 新規6名(うち夫婦型1組)、(参考)継続者 : 4名(うち夫婦型1組)。 サポートチームで就農初期の経営・技術・営農資金等の状況を確認し、指導を実施。 新規交付者の内訳 : ニラ4名 トマト1名 きゅうり1名								
新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
5. 農業後継者推進事業 【補助金の新規交付人数(人)】		目標値	15	6	6	6	6	6	6		JA高知県、高知県中央東農業振興センターと連携し、情報収集を図る。
	実績値	15	1								
	達成(評価) (C)	A	C								
【実施主体】 香南市	【連携する分野】 - (※当事業は就農後の支援)	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	農業後継者の就農直後の不安定な経営を改善し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。 (3親等以内の親族が経営する農業の後継者で、県及び国の支援事業に該当しない者が対象となる。) R2 : 香南市広報掲載への掲載による制度の周知。 合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金、農地等の課題に対応する。 【R2年度】 目標値は6名であったが、要件が合わない方やすぐに就農はせずいったん研修を受ける方もいたため、実績は1名となった。しかし、R3年度に繋げることができ、R3年度は3人が確定している。 また、JA高知県や高知県中央東農業振興センターと連携し、親元就農者の情報を集め、就農希望者がいるという情報がある場合は制度の説明を行い、就農を促した。 加えて、高知県中央東農業振興センターとJAとのサポートチームで各圃場をまわり就農状況の確認を実施した。								
新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
6. モニターツアー事業 【参加者人数(人)】		目標値	-	15	20	20	20	20	20		感染予防を徹底し、秋頃にみかん、ニラの収穫体験モニターの実施する。 周知方法として、市のHPに加え、高知県農業会議に属する「高知県新規就農センター」のHPへ情報を投稿する。
	実績値	-	-								
	達成(評価) (C)	-	-								
【実施主体】 香南市 香南市観光協会 (株)山北みらい	【連携する分野】 - (※当事業は就農を検討される方に向けたスタートアップ事業)	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	営農を検討している香南市内外の人を対象に香南市産地提案書品目を中心に農作業体験モニターを実施する。参加者アンケートにより、(株)山北みらいの「週末農家事業」や「繁忙期の担い手事業」(R2年度から各実施予定)への参加等連携した取組を行う。 <実績> H30: 14名参加<ニラ6名、ショウガ2名、ミカン6名>、R1 : 未実施。 <取組> R2~ : 15名予定<ニラ(8月)、ブドウ(9月)、ミカン(11月)> 【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により体験モニターは開催できなかった。								

◆経営改善・農地維持に向け取り組み

新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
1. 園芸用ハウス整備事業 【整備件数(件)】	目標値	19	13	13	13	13	13		JA高知県香美支所、振興センター、農業関係機関と連携し、事業を円滑に進めていく。 また、各広報誌等で、引き続き制度の周知を行い利用件数の増加を図る。
	実績値	13	6						
	達成(評価) (C)	B	C						
【実施主体】 JA高知県 香美地区 【連携する分野】 -	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	農家が規模拡大をする場合や、新規就農者がハウスを建設する場合に、JAがとりまとめを行い、申請してくるレンタルハウス事業や、中古ハウスの修繕や災害復旧に伴う建て替え等の整備に必要な経費の一部を県と市が補助し、農業者負担の軽減を図る。 R2： 香南市広報掲載への掲載による制度の周知や、JA高知県香美地区主催の説明会に市も参加して当事業について説明を実施する。 園芸用ハウス整備事業について説明を行うことで利用件数の増加を図る。 【R2年度】 香南市広報掲載への掲載による制度の周知やハウスの規模拡大を計画している農業者に対して当事業についての説明を行い周知を図った。 一方で、JA高知県香美地区主催の説明会は新型コロナウイルス感染症の影響により参加することができず、当事業についての説明を行う予定回数が減少したこと等から実績値は達成できなかった。							
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
2. 環境制御技術高度化事業 【活用施設件数(件)】	目標値	19	25	25	25	25	25		JA高知県及び市場等を通じて要望を取りまとめ、炭酸ガス発生装置・自動開閉装置等のリース導入を行った施設園芸農家に対し、国及び県の補助金に追加して香南市も助成を行うことで収穫量及び販売額の向上を図る。 R3年度(予定) 環境制御装置 18施設は確定。
	実績値	43	21						
	達成(評価) (C)	A	B						
【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	JA及び市場等を通じて要望を取りまとめ、炭酸ガス発生装置等のリース導入を行った施設園芸農家に対し、国及び県の補助金に追加して香南市も助成を行う。 R2： 環境制御技術導入 21施設(10経営体) (環境測定装置・炭酸ガス発生機・濃度コントローラー・ダクトファン・日射比例・自動開閉装置) 【R2年度】 環境制御技術導入 21施設(10経営体) 環境測定装置、炭酸ガス発生機、濃度コントローラー、ダクトファン、日射比例、自動開閉装置導入の取り組みにより、施設園芸農家の収入増加を図ることができた。							
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
3. 産地パワーアップ事業 【事業活用件数(件)】	目標値	48	30	30	30	30	30		産地の高収益化に向けた低コスト耐候性ハウスや環境制御装置を導入して、全国一のニラ産地を総合的に支援する。 このことにより収穫量及び販売額の向上を図る。 R3年度(予定) そぐり機 2件、自動開閉装置 6件 環境制御装置 14件、加温機1件 点滴灌水資材 3件、計26件
	実績値	23	12						
	達成(評価) (C)	C	C						
【実施主体】 香南市 【連携する分野】 産地パワーアップ計画書 【香南市(ニラ)第2期】	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	産地の高収益化に向けた低コスト耐候性ハウスや環境制御装置を導入して、全国一のニラ産地を総合的に支援する。 R2： そぐり機 3件、自動開閉装置5件、環境制御装置2件、加温機1件、点滴灌水1件を整備 ※R4以降の計画は未確定 【R2年度】 そぐり機3件、自動開閉装置5件、環境制御装置2件、加温機1件、点滴灌水1件を整備し、産地の高収益化に向けた取り組みを実施することにより、生産体制の強化が一定図られたが、新型コロナウイルス感染症の影響により設備投資を控える傾向もあり目標値に至らなかった。 当事業は国へ提出している計画の認定により支援される制度であり、R3年度が最終年度となっている。 R4年度からスタートする第3期の新たな計画づくりを検討しているが、当計画は売上げの向上(3年後10%アップ)が条件となっており、コロナ禍における計画策定に課題が生じている。							
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
4. 人・農地プランの実質化 【協議地区数(地区)】	目標値	-	20	5	5	5	5		アンケートや地区会合で得た情報から特にプランの効果確認及び修正が必要だと判断した地区から順に話し合いの場を設け、将来の展望が描けるよう見直しを実施する。 また、話し合いを継続して行い、中心経営体に農地を集約していく。 中心経営体がない地区に関しては、市、農業委員会等で農地をあまりもっていない新規就農者や一般農家に農地を斡旋する。
	実績値	-	20						
	達成(評価) (C)	-	A						
【実施主体】 香南市 香南市農業委員会 【連携する分野】 -	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	地域にある農地や後継者の現状を把握し、未来に向けた地域のプランを設計する。 R2： 全地区(20地区)の実質化。 R3～： アンケートや地区会合で得た情報から特にプランの効果確認及び修正が必要だと判断した地区から順に話し合いの場を設け、将来の展望が描けるよう見直しを実施する。 また、話し合いを継続して行い、中心経営体に農地を集約していく。 中心経営体がない地区に関しては、市、農業委員会等で、農地をあまりもっていない新規就農者や一般農家に農地を斡旋する。 【R2年度】 地区の営農アンケート収集や人・農地プラン地図システムの構築、地区会合の開催、検討委員会での審議を行い20地区の実質化が完了した。 なお、本来は各地区で2回の会合を予定していたがコロナの影響により地区会合が1回しかできなかった地区では、地区の農業委員と打合せをして、プランの案を作成し、案に対しての意見を地区の農業者より返信用はがきで収集した。							

経営改善
・
農地維持に向けた取り組み

新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	目標値	-	5,500	5,700	6,000	6,500	7,000		
	実績値	5,344	5,649						
	達成(評価) (C)	-	A						
5. 農産物のブランド化の推進(みかん) 【加工品の販売額(千円)】									引き続き山北みかん産地のPRを行っていくとともに、R2年度で試作した2商品のテストマーケティングを実施し、販売開始に向けたPRにも取り組んでいく。 また、山北みかんこもれびマルシェの連携運営等を行う。
【実施主体】 香南市農業活性化地域協議会 [JA生産者部会・地域各実行委員会 (株)山北みらい等]									各事業の活用や関係機関との連携により「山北みかん」を題材に香南市や産地のPRを行い、青果や加工品(ジュース、バター等)の販売拡大に取組み、農業所得の向上や雇用促進、地域活性化を図る。
【連携する分野】 商工業・観光									<p><事業活用> 農山漁村振興交付金事業(H29~R3年)による外商やPR活動。 加工品の推進・香南市産業振興計画推進事業費補助金による販路拡大や施設整備の取組。</p> <p><連携した取組(R2~)> ①ふるさと納税返礼品として活用。 ②生産者やJA・観光協会等と連携した販促やPRイベントを実施。 ③(株)山北みらい等とモニターツアーの実施や販路拡大の取組。 ④山北みかんこもれびマルシェを支援し、交流人口や地域活性化を図る。</p> <p>(参考)H30販売額 合計5,344千円 ジュース(1,419千円)、みかんバター(3,792千円)、かき氷(133千円)</p> <p>【R2年度】 ・名古屋市及び東京都で山北みかんフェアを開催。 ・新商品として「山北みかん氷」と「山北みかんハードサイダー」の試作品完成。 ・地域イベント「山北みかんこもれびマルシェ」を実行委員会と連携し開催。(R2.11.3) ・「みかんバター」のレシピを作成し、量販店等で配布。</p> <p>R2販売額内訳:みかんバター5,404千円、みかんジュース245千円</p>
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
6. 農産物の販売力の推進(ニラ) 【ニラ販売額(千円)】 ※ JA高知県(香南区分)入金額 ※ 園芸年度:8月~翌7月	目標値	-	1,500,000	1,600,000	1,600,000	1,700,000	1,750,000		
	実績値	1,170,000 (R元園芸年度)	1,002,722						
	達成(評価) (C)	-	C						
【実施主体】 JA高知県 香美地区(香美地区ニラ部会) 香南市観光協会 香南市・香美市									香南市の基幹品目であるが、H27年のニラ農家全戸225戸への意向調査等によると、10年後には戸数・収量共に3割~4割減となる恐れがある。このため、規模拡大志向のニラ農家や品目転換農家、新規就農者に対して、空きハウスの活用や省力化・収量向上の支援を行い生産量の確保を図る。また、流通・販売、観光イベントと連携したPR等により産地強化を推進する。
【連携する分野】 県物産川アクションプラン NO.1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト									<p><取組内容> ◆「担い手確保に向けた取組」の各事業、並びに実践型研修ハウス(H31・R元年度設置)の活用による担い手の育成・支援の取組。 ◆「経営改善・農地維持に向けた取組」の各事業によるハウス・機器類導入による生産量及び販売額の向上。</p> <p>①園芸用ハウス整備事業 ③産地パワーアップ事業(②環境制御技術高度化事業含む) ・高知県次世代型ハウス・農業クラスター促進事業(R元年度、設備導入)の運営の安定化。 ・販路拡大やPRイベントについてJAや観光協会、地元飲食店や地域と連携した取組。 ・農山漁村振興交付金事業(H29~R3年)によるパンフレット作成(R2年度予定)</p> <p>【R2年度】 高知県立大学と共同で13種類のニラレシピを作成し、ニラを取り扱う市内店舗等(やすらぎいち、くろしおの市、とさのさと、サニーマート御座店、みらい百彩館めーべ)にて配布を行い、販売及び商品の認知を高めた。</p>
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
7. 中山間地域等直接支払事業 【対象農地面積(a)】	目標値	-	6,650	6,650	7,000	7,000	7,000		
※基準値について 第1期では当補助金の交付を受けた組織数が目標であったことから、H30年度末は実績が11組織であった。 第2期からは、組織の活動する面積を目標数値とし、拡大を図る。	実績値	-	6,912						
	達成(評価) (C)	-	A						
【実施主体】 各地区の活動組織									中山間地域の農業生産条件が不利な地域において、5年間の各集落団体による農地保全や営農活動を推進する。R2年度からは第5期対策(5年間、R2年度~6年度)として11団体で6,650aに取組む。交付金の加算項目となる「集落戦略の作成」「協定間の連携による広域化活動」「指定棚田地域振興活動」等の取組み実現に向けて各団体を支援していく。
【連携する分野】-									<p>※当該団体を主体に、棚田地域振興法に基づく地域指定への取組み(棚田を活用した地域活性化に繋がる活動計画策定や協議会設立等を検討)</p> <p>R2~R3: 将来を見据えた集落戦略の作成、並びに指定棚田地域の指定への取組み R4~R6: R2年度から具体化していく予定の「人・農地プラン」等と連携して各地域の実態を把握し、対象の団体数や農地面積の拡大を図り、次期対策へと繋げていく。</p> <p>【R2年度】 R2年度は第5期対策の初年度であったため、集落に向いての制度の説明や対象農地の見直しを行い、10協定を認定した。 加算項目の「集落戦略の作成」については、3協定が取り組むことになった。 「協定間の連携による広域化活動」「指定棚田地域振興活動」については、現在、認定している集落協定においては、活用できなかった。</p>

経営改善・農地維持に向けた取り組み

経営改善・農地維持に向けた取り組み

新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
8. 多面的機能直接支払事業 【対象農地面積 (a)】 ※基準値について 第1期では当補助金の交付を受けた組織数が目標であったことから、H30年度末は実績が11組織であった。 第2期からは、組織の活動する面積を目標数値とし、拡大を図る。	目標値	-	32,930	33,260	33,590	36,720	37,080		■対象農地拡大 各組織の代表者等へ耕作放棄地の解消へ向け、対象農地を増やしてもらえよう促す。 ■新規組織設立へ向けた活動 窓口等で相談があれば事業を説明し、組織設立に向けたサポートを行う。
	実績値	-	43,581						
	達成(評価) (C)	-	A						
【実施主体】 各地区の活動組織 【連携する分野】 -	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	各地区の活動組織に対し、交付金を支払い、農地や農業用水路等の保全と質的向上を図る。 R2 : 再認定1組織(西部)、新規立ち上げに向けた調整、既存組織の対象農地面積拡大 R3 : 再認定1組織(上夜須)、既存組織の対象農地面積拡大 R4 : 再認定1組織(西山)、既存組織の対象農地面積拡大 R5 : 既存組織の対象農地面積拡大、新規組織の立ち上げ(予定) R6 : 再認定5組織(出口、中ノ村、西佐古、古川、吉原)、既存組織の対象農地面積拡大 【R2年度】 R3.3月に各活動組織向けに報告書類の作成等の事務研修を開催し、各組織の事務処理担当者へ注意事項等の情報を共有した。 更新が必要な水路や農道の補修等の相談を受け、必要であれば現地を確認する等組織と連携を取りながら事業を進めた。 広報での周知や新規の集落へ事業の説明へ出向く等、新規組織の認定へ向け活動を行った。							
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
9. 有害鳥獣被害対策実施事業 【駆除数(頭羽)】 ※R3年度の香南市有害鳥獣被害対策協議会の総会で、R3年度以降の駆除数が735に変更された。 このことから数値目標を上方修正 (R3年度より)	目標値	870	635	635 →735	635 →735	635 →735	635 →735		今後も、各地区の狩猟者と連携しながら、捕獲数を増やしていく。
	実績値	679	837						
	達成(評価) (C)	B	A						
【実施主体】 香南地区猟友会 香我美狩猟クラブ 【連携する分野】	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	香南市有害鳥獣被害対策協議会事業計画に則り、対象となる7種の鳥獣駆除に取り組む。 R2~6 : 猪220頭、鹿150頭、カラス150羽、狸・ハクビシン40頭、アナグマ70頭、サル5頭 (計 635頭羽) ※総会で事業計画の見直しを検討されることから、目標値の変更の可能性あり。 【R2年度】 各地区の狩猟者と連携しながら、有害鳥獣の駆除を実施した。 駆除数内訳 : 猪315頭、鹿170頭、カラス37羽、狸・ハクビシン287頭、アナグマ27頭、サル1頭 (計 837頭羽)							
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
10. 有害鳥獣被害防止事業 【柵の設置距離数 (m)】	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000		今後も窓口等での案内や広報掲載等で本事業の周知を図り、事業の活用に繋げていく。
	実績値	9,666	7,006						
	達成(評価) (C)	A	A						
【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	有害鳥獣が農地に入らないように、補助金を交付し、防護柵の設置を推進する。 R2 ~ R6: 補助制度について香南市広報掲載や農業者から有害鳥獣による被害があった場合に活用を促す等して周知し、防護柵の設置を推進する。 【R2年度】 農業者からの有害鳥獣被害に対する被害の相談があった際等に制度の説明及び活用を勧め事業の活用に繋がった。 なお、数値目標は10,000mであるが、R2年度の事業は7,006mで完了であったことからA評価とした。							

基盤整備・防災への取り組み

◆ 農業生産基盤の充実に向けた取り組み									
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
1. 耕作条件改善事業 【地区数】	目標値	2	2	3	3	3	3		中ノ村地区については引き続き堰及び水路改修に取り組んでいく。 また、R4年度の工事に向けて予定地区を算定していく。
	実績値	2	2						
	達成(評価) (C)	A	A						
【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	1.中ノ村地区曾我堰改修工事 (R2.10月予定) 2.中ノ村地区農道水路施工 (R2.9月予定) 3.東佐古地区水路改修工事 (R2.9月予定) ※ R4以降の予定地区(香我美町徳王子・夜須町西山地区・野市町大谷地区) 【R2年度】 1.中ノ村地区曾我堰改修工事 (R3.6月予定) 2.中ノ村地区農道水路施工 L=100m (R3.3月完成) 3.東佐古地区水路改修工事 L=770m (R3.3月完成)							
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
2. 重油流出防止付燃料タンク 整備事業 【整備数】	目標値	26	20	20	20	20	20		引き続き市やJA高知県の広報での周知を継続し、タンク保有者には整備の推進を促す書面を直接送付し、積極的に周知を図っていく。
	実績値	19	5						
	達成(評価) (C)	B	C						
【実施主体】 JA高知県 香美地区 燃料販売を行う事業者 【連携する分野】 流出防止装置付き燃料タンク等整備計画	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	重油タンク転倒時の流出防止付燃料タンクの整備及びヒートポンプへの変更の実施。 ※市が策定した流出防止装置付き燃料タンク等整備計画に基づくタンク・防油堤の設置及びヒートポンプへの変更を実施する。 R2 : 津波浸水区域を優先的に実施。 当事業の周知 : R元年度よりタンクの整備件数が減っていることから、市やJAの広報・HPで当事業の整備を積極的に周知する。 【R2年度】 タンク保有者には整備の推進を促す書面を直接送付する等、積極的に周知を行った。 しかしながら、既存タンクを流出防止付きタンクに変更する際には、個人負担が発生することから、申請数が伸び悩んでいる。							

数値目標1	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値 (累計)	5年間の達成 (達成度合)	備考
間伐面積 (ha)	目標値	68	25	30 →40	35 →40	45	50	185 →200		間伐面積は「緊急間伐総合支援事業」と「森林管理制度間伐委託事業」の合計値
	実績値	34.5	25.4							
	達成 (評価)	C	A							

■取り組みの内容について

【R2年度の総括】

新型コロナウイルス対策として、緊急間伐総合支援事業費補助金の保育間伐において、森林環境譲与税を活用した100%補助のメニューを新設。
 また、雇用と事業量の確保のため、香南市有林(香我美町撫川カナツキ)において、搬出間伐を実施した。
 実績値は、緊急間伐総合支援事業が25.46haであり目標値である25haを超えたことからA評価とした。
 R3年度以降も引き続き、緊急間伐総合支援事業費補助金の保育間伐における100%補助のメニューを継続し、更なる間伐面積の増加に繋げていく。
 (※間伐面積の増加が見込まれることから、R3、R4年度の数値目標は上方修正を行うものとする。)
 また、香南市有林(香我美町撫川カナツキ)の間伐については、残りの73.95haをR3年度中に実施する。
 (※香南市有林の間伐事業は目標値への反映は行わないものとする。)

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について		
	事業名称	目標値									A/B/C	
	○具体的な取組	実績値										
森林環境の保全に向けた取り組み	◆ 森林の管理											
		新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
		1. 意向調査の実施 【意向調査のha】 ▶ R2年度の意向調査方法を当初計画していたものと改めたことから、R3年度以降の数値目標も改める。 (森林境界明確化及び間伐事業へと繋げるために、森林所有者に対して森林管理に対する意向を調査する事業)	目標値	-	30	30 →44.1	30 →0	30 →0	30 →		R2年度の調査で未回答だった森林の所有者(44.1ha分)の自宅に直接訪問を実施する。 また、個人所有分の間伐事業は「緊急間伐総合支援事業」に示している面積を実施していくことから、意向調査で把握した計165.6haの間伐事業を優先していく。 また、進捗状況に合わせ、R4年度以降の再度、意向調査を行っていく。	
		【実施主体】 香南市	実績値	-	121.5							
		【連携する分野】 - (参考) 林班：森林の区画の単位	達成(評価) (C)	-	A							
					森林環境譲与税を活用し、森林境界明確化済であるが、整備されていない森林の所有者に市から調査文書を発送し、自身が保有している森林の今後の管理について、「自身で管理する」又は「市に管理を委ねる」の回答を得る。 R2：森林所有者への意向調査の実施(夜須地区) R3以降：森林所有者への意向調査の実施 【R2年度】 R2年度当初は「森林境界明確化を実施する予定森林を対象として意向調査を行う予定(=30ha)であったが、法務局の登記簿の情報及び税務収納課が所有する納税義務者の情報をもとに夜須町仲木屋の森林所有者の情報を整理したところ、同一所有者が多くみられたことから、R3年度以降に予定していた方を含めたより広い範囲(40~42林班(=165.67ha)を対象に意向調査を実施することとしたことから、目標値を上回る121.5haの実績値となった。 ※対象者39名のうち24名から回答。 ※意向調査の方法を変更したことから、R3年度以降の数値目標を変更する。 165.6 - 121.5 = 44.1(ha) 【面積の計算について】 当初の目標設定は県の「森林簿」の面積をもとにしていたが、「登記簿にはあるが、森林簿には無い地番」が多くあることから、実績値は、「森林簿面積×回答があった登記簿面積/全体の登記簿面積」により、算出し121.5haとなった。 ※森林簿(林班40~42)面積・・・165.67ha 登記簿面積(合計)・・・104.92ha 登記簿面積(回答有り)・・・76.70ha							
		◆ 森林境界明確化事業の実施										
		新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
		1. 森林管理制度森林境界明確化委託事業【ha】 ▶ 連携団体である香美森林組合が取り組める業務量が増加したことからR3年度以降の目標値を改める。 (間伐事業に向けて境界を確定していく事業)	目標値	170	25	25 →40	25 →40	25 →40	25 →40		R2年度の意向調査対象森林のうち、最大40haで実施予定。 現在、実施する地番を調整しているが、意向調査未回答であり、森林所有者が特定できていない地番があるため、探索する。	
		【実施主体】 香南市	実績値	22.7	30.9							
	※連携団体(香美森林組合) 【連携する分野】	達成(評価) (C)	C	A								
				意向調査を実施した森林について、市が事業主体となり、森林境界明確化を実施する。 R2：森林境界明確化の実施(夜須町仲木屋) R3以降：森林境界明確化の実施 【R2年度】 前年度に意向調査をした対象の森林を香美森林組合に委託し、30.9haで森林境界明確化を実施した。 国の交付金を活用する従来の対応の場合、交付単価が低く、事業自体に赤字が発生するケースが見られたことから、事業の実施が難しい状況であったが、香美森林組合の管内である香美市、南国市と協議し、現状にあった単価を設定し事業を進められたことで、実績値は目標値を上回った。(※森林環境譲与税を活用)								

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (R2年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称		目標値							A/B/C		
	○具体的な取組		実績値									
森林環境の保全に向けた取り組み	◆間伐事業の実施											
	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
	1. 緊急間伐総合支援事業 (保育・搬出間伐)【ha】	目標値	68	25	25 →35	30 →35	40	45		保育間伐においては、引き続き緊急間伐総合支援事業費補助金の100%補助を活用し、最大35ha実施予定。		
	実績値	34.5	25.4						香南市有林(香我美町撫川カナツキ)の間伐については、残りの73.95haを実施する。			
	達成(評価) (C)	C	A									
	【実施主体】 香美森林組合	「緊急間伐総合支援事業費補助金」を活用し、香美森林組合等が保育・搬出間伐を実施する。 R2以降 : 保育・搬出間伐の実施										
	【連携する分野】 -	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D) 【R2年度】 緊急間伐総合支援事業費補助金の保育間伐は、従来の10,000円/haの補助単価を見直し、森林環境譲与税を活用した100%補助のメニューを新設して25.46ha実施した。 ① 25.4ha(内3.88haは100%補助を新設前に実施)、②0ha、③0ha また、香南市有林(香我美町撫川カナツキ)では、2haの搬出間伐を実施した。 (林業部会の数値目標は「個人所有地の間伐面積」であることから、香南市有林の間伐面積の反映は行わない。)										
啓発・普及への取り組み	◆山や森林に親しむ機会の提供											
	新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
	1. 木育事業【実施回数(回)】	目標値	-	11	11 →13	11 →13	11 →13	11 →13		香南市内保・幼・小・中学校で予定している森林学習・木工体験は引き続き実施する。		
	実績値	-	10						(R3年度の予定) ※5/12現在 6/10 赤岡保育所 また、新生児向けのおもちゃの配布事業については、R6年度末までには配布率100%に向けた周知の徹底に努める。			
	達成(評価) (C)	-	B						加えて、R3年度は、高知県森と緑の会香南支部の財源を活用し、香南市内の保育所と幼稚園に向けて香南市産材を活用した木製おもちゃの贈呈を新たに実施し、木に触れる取り組みを強化する。			
	【実施主体】 香南市	図書館等で子どもたちを対象とした木育イベントの開催する。 また、市内の保育所や幼稚園、小・中学校の授業や行事での森林体験学習を実施する。 ※ 市内保・幼・小・中学校 22施設を対象とし、毎年11施設ずつ実施。 ※ 緑の募金を活用し、高知県森と緑の会と連携して事業を実施する。 ※ 森林環境譲与税を活用し、香南市農林水産課の事業として実施する場合もある。 ※ 林業関係者及び有識者と連携して事業を実施する。										
	※連携団体 高知県森と緑の会 香南市支部 香南市教育委員会 香美森林組合 地域の有識者	R2以降 : ① 木育イベントの開催(子供又は保護者を対象) ② 保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施 ③ 市主催以外の木育・林業関連のイベントの周知 ④ 香南市の森からの贈り物事業(市内の新生児に木のおもちゃを配布) ※R3より目標値に追加 ⑤ 市内の保育所と幼稚園に香南市材を活用した木製おもちゃの贈呈 ※R3より目標値に追加										
	【連携する分野】	(D) 【R2年度】 香南市内の保・幼・小・中学校に出向き、香南市内の講師とともに間伐の重要性等を学ぶ森林学習、バードカービング等の木工体験を10回実施した。なお、予定していた木育イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。 また、森林環境譲与税を活用し、木育の取組の一環として、香南市内の新生児(対象者191名)に木のおもちゃを贈呈する「香南市の森からの贈り物事業」を新設し、申込のあった152名に木のおもちゃを配布した。 (配布率 79.1%) ※「香南市の森からの贈り物事業」はR2年度途中からの取り組みであることから、実績値への反映は行わない。										

数値目標1	年度	基準値 (1999年度)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値 (累計)	5年間の達成 (達成度合)	備考
沿岸漁業総生産額 (百万円)	目標値	-	285	290	295	300	305	1,475		高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額。 ※H24年度からH30年度までの沿岸漁業総生産額のうち、最大値・最小値を除いた平均値を算出し、伸び率10%(浜の活力再生プラン10%以上向上を引用)を考慮し算出。
	実績値	358	290							
	達成 (評価)	-	A							

■取り組みの内容について

【R2年度の総括】
 目標数値である「沿岸漁業総生産額」については、目標値(沿岸漁業総生産額)285百万円に対し、実績値は290百万円であったことから、取組評価はAとした。
 戦略の柱となる「改修整備」については、県漁協吉川支所で冷凍設備更新、赤岡統括支所では、上架施設(ドック場)軌条改修を行うことで、漁業者の就業環境の向上に努めることができた。
 また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている漁業者に対して、燃料費等の運営経費に対して一部補助する「水産業活力支援事業費補助金」により25経営体(うち内水面養殖業4経営体)への支援を行い、漁業の生産性の向上、漁業経営の安定化が図られた。
 「流通・販売の強化」については、県漁協手結支所の販売額は、当初は新型コロナウイルス感染症の影響により大口取引先との取引量が大幅に減少していたが、担当者の販路拡大の努力より、目標値の79.5%、前年度比75.5%まで回復したことから、浜値の下支え機能の維持に繋がっている。
 次にシラス魚価向上につながる加工業者へのヒアリングについては、コロナ関係事業等の周知が主になったため、魚価向上に向けた取組は未実施に終わった。
 最後に、かちりじゃこ(イワシシラス)の学校給食への試験的な納入を開始し、9月以降は定期的な納入となり目標値を大きく上回った。また、シイラの納入も継続して実施することができた。
 「担い手の確保」については、吉川バッチ網船主会総会での就業支援制度の説明を実施。
 (一社)高知県漁業就業支援センターホームページに10月より求人情報を掲載(2経営体:雇用型)。ここ数年は新規漁業就業者の確保に至っていない状況であったが、昨年12月より吉川において、1名短期研修を開始し、1月より「雇用型漁業支援事業」を開始した。
 今回当市で初めて雇用型での新規漁業就業者であり、今後の就業者確保の先進的な事例となる。

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (1999年度)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	具体的な取組	目標値							A/B/C		
地産の強化	◆生産基盤の充実											
	新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
	1. 水産機能施設の整備 【件数】		目標値	10 (延べ)	3	3	-	-	-		赤岡・吉川荷捌所トイレ改修・赤岡荷捌所屋根防水、吉川荷捌所土間補修を計画している。 改修整備以外に緊急の故障等により、漁業活動への支障を来している施設もある。そのため、各支所の状況を継続してヒアリングし、漁協と連携し適切な維持管理に努める。	
	※基準値:H27-H30の延べ数。 R2年度の目標値は単年の数値		実績値	17 (延べ)	3							
		達成(評価) (C)	A	A								
【実施主体】 香南市・高知県漁業協同組合		R2.6: 吉川水産機能施設(冷凍設備)改修 R2.7: 赤岡水産機能施設(上架施設)改修 R2.8: 吉川水産機能施設(荷捌き所)補修 ※R3以降は漁協各支所単位でヒアリングを実施し、改修を計画していく。 ※R3以降は未定。										
【連携する分野】-		R2年度の具体的な事業内容 (P) (D) 【R2年度】 R2.8完成: 吉川水産機能施設(冷凍設備)改修 R2.11完成: 赤岡水産機能施設(上架施設)改修 R2.11完成: 吉川水産機能施設(荷捌き所)補修										
新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
2. 漁港施設の整備 水産物供給基盤機能保全事業保全計画 【整備率%】		目標値	-	64	73	77	82	86		引き続き吉川漁港-3.5m航路浚渫を実施予定。 また、泊地に関しても干潮時に漁船への影響が出ていることもあり、住吉・吉川漁港の深浅測量も実施予定。 機能保全計画に沿った保全工事実施(住吉・吉川)		
※ O/11施設(A判定のみの数) ※ 参考: R元年12月末 6施設/11施設 = 55%		実績値	50	59								
		達成(評価) (C)	-	B								
【実施主体】 香南市		【水産基盤ストックマネジメント事業(長寿命化)】 11施設 住吉漁港: 休けい物揚場(完)・東防波堤(完)・西防波堤 吉川漁港: -2.0m物揚場(完)--1.5m物揚場(完)・護岸(東)(完)・船揚場(4)(完) 導水施設(B)--3.5m航路--3.0m泊地--2.0m泊地 R2: 7施設/11施設 住吉: 西防波堤 0.5施設 吉川: 導水施設(B) 0.5施設 計1施設 R3: 8施設/11施設 住吉: 西防波堤 0.5施設 吉川: 導水施設(B) 0.5施設 計1施設 R4: 8.5施設/11施設 吉川: -3.5m航路 0.5施設 R5: 9施設/11施設 吉川: -3.5m航路 0.5施設 R6: 9.5施設/11施設 吉川: -3.0m泊地 0.5施設 ※あくまでも計画であり、施設状況・予算配分等で変更される場合あり。										
【連携する分野】-		R2年度の具体的な事業内容 (P) (D) 【R2年度】 吉川漁港-3.5m航路浚渫完成(0.5施設) 6.5施設(完成)/11施設(全体)=59% ※当初計画は住吉漁港(西防波堤)・吉川漁港(導水施設(B))の保全工事を予定していたが、吉川漁港-3.5m航路の土砂堆積による航行障害が発生したため、急遽実施することとなった。今後も定期的に深浅測量を実施し、安全な航行体制の確保に努める。										

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度実)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称	〇具体的な取組	目標値							A/B/C	
流通・販売の強化	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【R3年度の取り組み内容】(A)
	3.シラス加工品販売額 【販売額:万円/社】	目標値									R2年度のヒヤリングではコロナ関係事業等の周知が主になったため、今年度はシラス加工に関してどのような取組が必要か、またその取組にマッチする支援制度の検討を実施する。 設定できなかった販売額目標を加工業者とのヒヤリングを通じて年度内に設定する。
		実績値									
		達成(評価) (C)									
	【実施主体】 シラス加工業者 (高知県・香南市)	【実施内容】	【シラス魚価向上につながる加工業者へのヒヤリングの実施】 R2: 県版HACCP取得(県支援制度活用) : どのような取組が必要であるかのヒヤリング ⇒ まとめ ⇒ 取組決定 R3: 加工場設備投資支援補助金の検討 【R2年度】 ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う加工業者への影響ヒヤリング ・新しい生活様式に対応した商品開発・衛生管理に必要な機器整備等の支援策を各加工業者へ周知 ・香南市産業振興計画推進事業費補助金の活用(1件)								
	◆学校給食等への納入	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【R3年度の取り組み内容】(A)
	1-1. 学校給食等への納入 (かちりじゃこ) 【納入回数(回)】	目標値	-	16	20	24	28	32			地産地消推進協議会・教育委員会(給食センター)と連携し引き続き納入していく。また、給食に使用されているにも関わらず、食育という面で農業と違い漁業は体験がなかなか出来ない実情があるため、映像等で市内漁業の紹介ができる教材を作成していくための調整を部会において実施する。 (漁協・漁業者・加工業者・県・市)
		実績値	-	58							
		達成(評価) (C)	-	A							
	【実施主体】 市内加工業者 香南市 (地産地消推進協議会・給食センター等)	【実施内容】	【市内水産物(かちりじゃこ)の給食センターへの納入促進】 ※ R2.2月に試験的な納入開始予定 R2: 16回/年 (1回/月×8カ月(6~9月納入なし)×2センターで算出) R2: 第1期香南市産業振興計画の取組の中で、納入不可とされた加工業者との調整 【R2年度】 納入回数 58回(こうなん 33回 赤岡・吉川 25回)								
新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【R3年度の取り組み内容】(A)	
1-2. 学校給食等への納入 (シイラ) 【納入回数(回)】	目標値	11	22	23	23	24	24			地産地消推進協議会・教育委員会(給食センター)と連携し引き続き納入していく。また、給食に使用されているにも関わらず、食育という面で農業と違い漁業は体験がなかなか出来ない実情があるため、映像等で市内漁業の紹介ができる教材を作成していくための調整を部会において実施する。 (漁協・漁業者・加工業者・県・市)	
	実績値	22	20								
	達成(評価) (C)	A	B								
【実施主体】 高知県漁業協同組合 手結支所 香南市 (地産地消推進協議会・給食センター等)	【実施内容】	【市内水産物(シイラ)の給食センターへの納入継続】 R2: 22回/年 (H27~H30平均納入回数 21回) ※献立により上限はあるが、使用頻度の増加を図る。 【R2年度】 納入回数 20回(こうなん 6回 赤岡・吉川 13回 市外 1回)									
◆(一社)高知県漁業就業支援センターとの連携による担い手確保	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【R3年度の取り組み内容】(A)	
1. 担い手の確保事業 (自営漁業者育成事業) (漁家子弟支援事業) (雇用型漁業支援事業) 【就業者数:人】	目標値	1	1	1	1	1	1			R2年度から継続して雇用型漁業支援事業を実施する。	
	実績値	0	1								
	達成(評価) (C)	C	A								
【実施主体】 香南市 (一社)高知県漁業就業支援センター 高知県漁業協同組合・漁業者	【実施内容】	R3.3末: 就業希望者への主要漁業種別の生活プランの作成 → R4.4以降(一社)高知県漁業就業支援センター実施のフェア等への参加 R2.8~: 各種支援制度の説明会の開催(年1回程度 既存漁業者対象) ※市内漁業形態では1人での操業が厳しい状況であり、雇用型・漁家子弟での確保を目指す。 【R2年度】 ・吉川/パッチ網船主会総会での就業支援制度の説明を実施。 ・(一社)高知県漁業就業支援センターホームページに10月より求人情報を掲載(2経営体:雇用型)。また、香南市の紹介ページの業案を作成し、現在掲載に向けて調整中。 ・吉川において、1名短期研修を実施、今年1月より「雇用型漁業支援事業」を実施中。									

数値目標1	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値	5年間の達成 (達成度合)	備考
商業者数 (事業所)	目標値	-	813	814 →再設定 を予定	815 →再設定 を予定	816 →再設定 を予定	817 →再設定 を予定	817 (延べ) →再設定 を予定		香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF~O・Q・Rに分類される事業所数。 ※H30年の基準値813事業者から年間の創業者数が廃業者数を上回るように目標数値を設定
	実績値	813	779							
	達成(評価)	-	C							
新規事務系企業数 (企業/年)	目標値	-	2	2	2	2	2	10 (累計)		香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数。
	実績値	-	1							
	達成(評価)	-	C							

■取り組みの内容について

【R2年度の総括】

目標値である商業者数813者に対し、実績値が779者と大幅な減少となり、数字上はB評価だが、目的は商業者数の維持であったことから評価はCとした。
この目標値はH30年度に香南市商工会が高知県に報告を行った事業者数を基準値とし、そこから目標値の設定を行ったが、新型コロナウイルス感染症に関する各事業の周知を行った際に連絡の取れない等の事業者が見受けられたことから、R2年度に商工会による事業者の確認調査が行われた。
この結果、すでに廃業となっている事業者が多かったことがわかり、大幅な減少となった。
R3年度は、これらのことを鑑み、再度目標値の設定について部会内で協議を行うこととしている。

新規事務系企業数は目標値2社に対して、実績値は1社であり、達成評価はCとなった。
新型コロナウイルス感染症の影響により首都圏企業に対するアプローチの機会が減少したことに加え、首都圏等ではオンラインの導入が加速したことやテレワーク等が普及したことにより、雇用の在り方や働き方に対しても大きな転換期を迎えたことが影響している。

市が行う各事業では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者等への支援事業を優先したことから、予定していた事業の実施を見送ったものも多かった。
また、「空き店舗活用に向けた取り組み」については、前年度に続き、空き店舗等対策事業費補助金の利用がなかった。本補助金の利用促進を図るため、空き店舗を活用した事業であれば様々な業種で利用できるようにR3年度より更なる拡充を図る。
また、「担い手確保に向けた取り組み」の未来人材育成奨学金返還事業や創業支援等事業計画等はまだまだ周知の徹底が弱く利用件数等は伸びていない。
「商業支援」については、香南BIGカーニバルを実施する等し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者の支援を実施した。
また、地場産品販売促進事業では、新型コロナウイルス感染症の影響から「お取り寄せ」が身近になったことで売上が向上。
ギフトカタログのふるさと応援給付金の売上合計は、昨年度と比べ約116.6%増となった。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について		
		事業名称	目標値						A/B/C			
空き店舗活用に向けた取り組み	○具体的な取組	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
		1. 商店街等振興計画の策定 【計画策定】	目標値	-	計画策定	-	-	-	-			R3.6月:協議会の立ち上げ 以後、3回~5回程度の会議を開催し、計画内容の検討・立案を実施。
			実績値	-	-							R3.11月末までに計画の策定を実施。
	達成(評価)	(O)	-	-								
	【実施主体】 香南市 香南市商工会 地域事業者	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	地域商業を活性化させるために中心市街地を核にした振興計画を策定する。 R2. 5月から協議会及びWGのメンバー等選定 R2. 8月から定期的に協議会、WGを実施 R3. 1月に当計画を策定 ※R3以降の実施については計画内容により設定									
	【連携する分野】 県 物産部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興		【R2年度】 R2.6月に高知県と策定に向けた事前協議を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響による事業者支援等を優先したため、計画策定に向けた具体的な取り組みはできなかった。									
2. 空き店舗実態調査の実施 【調査実施】	目標値	-	調査実施	-	-	-	-	-			空き店舗調査を行う会計年度任用職員を募集・採用し、市内全域の空き店舗等の状況を把握する。 ※R3.4月より会計年度任用職員を雇用済	
	実績値	-	-									
	達成(評価)	(O)	-	-								
【実施主体】 香南市 香南市商工会	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	市内全域の空き店舗数や形態に関する実態調査を実施する。 R2. 4~6月に臨時職員の応募及び雇用、チェックシートの作成 R2. 7月より調査開始 R2. 11月 中間とりまとめ R3. 3月 最終結果とりまとめ ※R3以降の実施については計画策定後に定める。										
【連携する分野】 県 物産部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興		【R2年度】 R2.3月下旬から5月上旬まで会計年度任用職員の募集を実施したが応募がなかった。 その後は、新型コロナウイルス感染症の影響による事業者支援等を優先したため、臨時職員の雇用を行わず、事業自体の実施を見送った。										

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (R2年度達成)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	目標値								A/B/C		
空き店舗活用に向けた取り組み	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【R3年度の取り組み内容】(A)	
	3. 空き店舗バンク事業 【登録件数:累計(件)】	目標値	-	創設	5	10	15	20			空き店舗調査の結果を踏まえ、市内の空き店舗情報を一元化し、創業等を検討している方に発信できる仕組みを構築する。	
		実績値	-	-								
		達成(評価) (C)	-	-								
	【実施主体】 香南市 香南市商工会	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	空き店舗情報を一元化し発信する仕組みづくりを構築する。									
	【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興		R2.5月から9月に宅建協会や地域支援課等と協議を行う R2.11月空き店舗バンク要綱等制定 R2.12月より空き店舗バンク開始(市HP等を活用し情報発信)									
			【R2年度】 上記「2.空き店舗実態調査」を見送ったため、当事業の具体的な取り組みも見送っている。									
	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【R3年度の取り組み内容】(A)	
	4. 空き店舗等対策事業 (空き店舗等対策事業費補助金) 【補助金利用件数(件)】	目標値	2	2	2	2	2	2			本補助金の利用促進を図るため、補助対象業種の拡充を行う。 また、周知を図るため、引き続き市HP等への掲載や関係機関等への説明・周知を実施する。	
		実績値	1	0								
達成(評価) (C)		C	C									
【実施主体】 香南市 香南市商工会	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	空き店舗を活用した創業を支援する。										
【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興		市HPや広報誌での情報発信 不動産業者や金融機関への補助事業の説明										
		【R2年度】 市HPへの掲載を実施。 問い合わせが1件あったが、対象とならない業種(社会福祉業)であったことから、利用には至らなかった。										
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【R3年度の取り組み内容】(A)		
5. 空き店舗等を活用した新規事務系企業の誘致 【誘致企業数(件)】	目標値	-	2	2	2	2	2			R3年度は、企業訪問とオンライン会議を併用し、企業誘致活動を展開する。 引き続き、立地企業の雇用支援(市HPや広報誌等)を実施していく。		
	実績値	-	1									
	達成(評価) (C)	-	C									
【実施主体】 香南市	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	地方への進出を検討している首都圏企業に対して、補助制度や物件等を提供することで、市への企業誘致を図る。										
【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興		イシン(株)との連携による首都圏企業訪問(3回) 空き店舗等の物件調査(随時) 香南市情報サービス施設等設置促進事業費補助金の活用										
		【R2年度】 ・合同会社NGSが道の駅やすE棟に立地(4/1操業開始し、地元雇用4名) ・新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏企業訪問は実施しなかった。 ・オンライン交流イベント(ITの仕事×ライフスタイル)への参加 7/29 ・香南市情報サービス施設等設置促進事業費補助金(申請数 1件) ・立地事務系企業の雇用支援(市HPや広報誌等)の実施(支援数 1社) ※9/21~22企業説明会・面接会の開催 ・立地検討企業の市内視察、補助制度等の説明(2社 ※内1社はオンラインによる説明)										
担い手の確保に向けた取り組み	◆担い手の確保・育成											
	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【R3年度の取り組み内容】(A)	
	1. 事業承継の推進 【事業承継事業者数(人)】	目標値	-	アンケート調査等	1	1	1	1			市と商工会で連携し、市内事業者が事業承継に対する意識を持つように、事業承継のニーズを掘り起こし、事業引継ぎ支援センター等につないでいく。	
		実績値	-	-								
		達成(評価) (C)	-	-								
	【実施主体】 香南市 香南市商工会	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	空き店舗実態調査とあわせて、既存事業者に対してアンケート調査及びヒアリング調査を実施。									
	【連携する分野】 工業分野、観光分野 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興		事業承継ヒアリングシートの作成 R2.7月より調査開始 適宜、事業者の同意が得られれば、事業引継ぎ支援センター等への情報提供を行う									
			【R2年度】 ・空き店舗実態調査の実施ができていないため、市がヒアリング調査等実施できていない。 ・市商工会による事業承継ヒアリング件数 7件 (ヒアリング内容) 後継者の有無、承継に向けた準備の有無、相談相手の有無等									

戦略の柱	◆取り組みの柱										
	事業名称 ○具体的な取組	年度	基準値 (R2年度基準)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
抱い手の確保に向けた取り組み	新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
	2-1. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成事業費補助金) 【利用件数(件)】	目標値	10	5	5	5	5	5		引き続き、企業訪問や懇談会等で事業者者に周知を図るとともに、城山高校合同企業説明会において、学生にも事業紹介を行うことで利用件数の増加を図る。 利用件数の増加とならない場合は、勤務形態の変化等を踏まえた制度改正を行う。	
		実績値	0	0							
		達成(評価) (○)	C	C							
	【実施主体】 香南市 【連携する分野】 工業分野、観光分野	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	<p>人材の確保と市への定着を図る事を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成する。 (返還奨学金の1/2又は就労期間に10,000円を乗じた額のいずれか少ない額 ※最長8年間) ・H28年度から本事業を開始したが、利用がないことからR2年度より要綱を改正し、 新卒者のみでなく、中途採用(40歳未満の方)も対象とすることで利用の促進を図る。 ・企業訪問や懇談会での事業紹介を行うとともに、商工会や県内の学校と連携し利用促進を図る。</p> <p>【R2年度】 要綱改正や企業訪問による事業案内、企業説明会等で事業周知を行い、1件の認定に繋がったものの、認定対象者が中途退職により助成金の交付に至らず、目標値には届いていない。</p>								
	新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
	2-2. 人材ニーズの掘り起こし及び発信 【仕事情報件数(件)】	目標値	-	5	5	5	5	5		空き店舗調査と合わせ、市内企業が求める人材ニーズ等を調査し、移住等を検討している方に発信していく。	
		実績値	-	-							
		達成(評価) (○)	-	-							
	【実施主体】 香南市 【連携する分野】 農業、林業、水産業、工業、観光分野、移住 県物産川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	<p>空き店舗実態調査とあわせて、市内事業者が求める人材ニーズや仕事内容の調査を行い、移住フェア等で発信する。</p> <p>R2.7月より調査開始 適宜移住フェア等での発信や無料職業紹介所への掲載を行う</p> <p>【R2年度】 空き店舗実態調査の実施ができていないため、調査は実施しなかった。</p>								
新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
3. 創業支援事業計画の見直し 【創業者数(人)】	目標値	-	6	6	6	6	6		創業支援等事業計画の内容やメリット等を金融機関等の関係機関に周知し、創業時に事業計画のブラッシュアップ等の支援を行う。		
	実績値	-	11								
	達成(評価) (○)	-	A								
【実施主体】 香南市 香南市商工会 【連携する分野】 工業分野、観光分野	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	<p>市が創業支援事業者(商工会、金融機関等)と連携し、専門家による支援等を実施し、創業される方や創業後間もない方を支援する計画。 (特定創業支援事業の認定を受けることで登録免許税の減額等の措置がある) ※H28年度に策定した創業支援事業計画の認定期間終了に伴い、計画の見直しを実施する。</p> <p>【R2年度】 R2年12月23日付けで国より計画期間延長の承認がされた。(終期：R8年3月31日まで) 市HPに創業支援等事業計画に基づく支援等について掲載した。 令和2年度中の創業者は11件(製造業1件 小売業1件 サービス業9件)</p>									
新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
4. 創業支援利子補給金事業 【利用件数】	目標値	3	3	3	3	3	3		引き続き、商工会や金融機関等と連携し、本補給金事業の周知を図り、創業時の経済的負担の軽減を図る。		
	実績値	2	3								
	達成(評価) (○)	B	A								
【実施主体】 香南市 【連携する分野】 - 工業分野、観光分野	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	<p>市内金融機関から創業向け融資を受けた創業者が支払った利子のうち年利1%に相当する額を補給する。 (補給対象期間は償還開始日から2年間で1事業者につき年間10万円を上限) 市HPや広報誌等での情報発信や金融機関への紹介を行い、創業者による利用の促進を図る</p> <p>【R2年度】 ・市HPへの掲載 ・金融機関への事業周知の実施 ・利用件数 継続1社(社会福祉業)、新規2社(社会福祉業1件、建設業1件) 計3社</p>									
◆商業支援	新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
商業支援	1. 緊急融資保証料補給金事業 【新規利用件数】	目標値	-	1	1	1	1	1		引き続き、市内事業者の資金繰りを支援するために、商工会等と連携し、本事業の周知を行う。	
		実績値	-	-							
		達成(評価) (○)	-	-							
	【実施主体】 香南市 高知県信用保証協会 【連携する分野】 工業分野、観光分野	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	<p>市内中小企業者が県緊急融資を受けた場合、融資に必要な信用保証を行う県信用保証協会に対して補給する。 商工会や金融機関等と連携し、必要としている事業者者に周知を図る。 市HPや広報誌での情報発信</p> <p>【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響による新たな融資制度が創設され、本補給金の活用はなかったことから評価は「-」とした。 ・高知県信用保証協会と契約締結(4/1) ・新型コロナウイルス感染症の影響によるセーフティネット保証の認定(262件 前年度0件)</p>								

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (100%達成)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	○具体的な取組	実績値								
商業支援	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	2. 各種セミナーの開催 【開催数(回)】	目標値	-	2	2	2	2	2		引き続き、市内事業者に対してセミナー等を開催することで、経営者等のスキルアップや店舗等の魅力向上等につなげ、事業の維持、発展につなげていく。
		実績値	-	2						
		達成(評価) (C)	-	A						
	【実施主体】 香南市 香南市商工会 【連携する分野】 工業分野、観光分野	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	<p>経営等に関する様々なセミナーを開催することで、経営者や従業員のスキルアップを図り、事業の維持・発展につなげる</p> <p>R2: 2回実施</p> <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JPQR説明会の実施(11/9 参加事業者数 5者) ・HP作成講習会の実施(9/24~11/26 計5回 参加事業者数 29者) ・各機関が行うオンラインセミナー等の周知 							
商業支援	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	3. 香南カーニバル事業 【参加店舗数(軒)】	目標値	45	45	-	-	-	-		飲食業以外の業種にも参加できるようにする等、新たな形で香南BIGカーニバル事業を実施し、落ち込んでいる市内経済の活性化を図る。
		実績値	45	82						
		達成(評価) (C)	A	A						
	【実施主体】 香南市商工会 地域事業者 【連携する分野】 農業分野、水産業分野、観光分野	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	<p>商業の活性化を目的に、主に飲食店を中心に短期間のグルメイベント「香南カーニバル」を継続して開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞折込、HPやSNSを活用した情報発信 ・他市との差別化を図るために、協賛企業提供による協賛品の特典を継続 ・女性限定メニューや市特産品を活用したメニューを取り入れた店舗の継続 ・タクシーへの利用可能を継続し、周遊を促進 <p>※R3以降に同内容のバリエーション開催は未定であるが、活性化に向けた商業イベントを実施予定</p> <p>【R2年度】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている飲食業等を支援するため、これまでのパルとは異なった形で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7,000円分のチケットを3,000円で販売し完売した。(6,000円分は飲食店専用、1,000円分はタクシー代行専用) ・換金率 飲食店分 約98% タクシー代行分 約62%となった。 ・参加店舗から、本事業の効果で「客単価が上がり、売上増につながった」等の声があった。 ・R2. 12月末からR3. 2月末までの間、約2週間ごとに香南市役所内において職員向けテイクアウト事業を行った。 <p>テイクアウト事業の結果としては、延べ43店舗(実数12店舗)、延べ売上約115万となった。</p>							
商業支援	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	4. 地場産品販売促進事業 【カタログ販売額+ふるさと応援寄付金事業 (事業者売上額:万円)】	目標値	10,400	10,940	11,460	11,980	12,500	13,020		ギフトカタログWEBサイト(ECサイト)のリニューアルを行い、サイトの利便性や商品の視覚的訴求の向上を図り、売上増を図っていく。また、新たな取扱事業者や取扱商品の増加を図るため、積極的に事業者へ声がけや提案を行い、商品のマンネリ化を防ぎ、リピーター確保につなげる。
		実績値	11,975	169,661						
		達成(評価) (C)	A	A						
	【実施主体】 香南市観光協会 香南市 【連携する分野】 農業分野、水産業分野、観光分野 県 物産川アクションプラン NO.14 香南市における特産品づくりと販売の促進	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	<p>R2: カタログ440万円 + ふるさと納税額 10,500万円 計 10,940万円</p> <p>R3: カタログ460万円 + ふるさと納税額 11,000万円 計 11,460万円</p> <p>R4: カタログ480万円 + ふるさと納税額 11,500万円 計 11,980万円</p> <p>R5: カタログ500万円 + ふるさと納税額 12,000万円 計 12,500万円</p> <p>R6: カタログ520万円 + ふるさと納税額 12,500万円 計 13,020万円</p> <p>R2: 県内外のイベント等での特産品販売を行うとともに、各種ふるさと納税サイトやカタログ等のPR冊子で情報発信することで商品や市の認知度向上を図る。</p> <p>コロナ商品や季節商品の企画による商品数の増加を図り、魅力度向上を図る。</p> <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ギフトカタログ売上 : 10,630千円 (対前年比約155.6%) ○ ふるさと応援寄付金売上(返礼品買取額) : 159,031千円 (対前年比約114.7%) <p>合計 : 169,661千円 (対前年比約116.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 香南いきいきクーポン配布、旨市ギフト商品引換を実施 ・ 新たな事業者開拓(新規参加事業者13社)や季節商品(39商品)の開発 ・ イベント等での出店で特産品やカタログ、ふるさと応援寄付のPR ・ 日曜日 7/12 TOYOTAヤ・シィらんど 10/17~18 ふるさとまつり 11/13~15 高知新港 11/30 ・ 香南市事業者向けHACCP研修の実施(2/24 午前/午後の2部実施 参加者計 58名) ・ 新ギフトカタログ発行(20,000部) ・ ふるさと納税PR動画の作成し、ふるさと納税特設サイトに掲載(6件) 							

第2期 香南市産業振興計画(KPI)

【工業分野】

数値目標1	年度	基準値 (H30年度実績)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値 (累計)	5年間の達成 (達成度合)	備考
製造品出荷額 (億円)	目標値	500	360	380	400	420	440	2,000		工業統計調査 (調査年は前年度の製造品出荷額) ※R元年工業統計結果(速報)の造品出荷額344億円から、R2年度以降に操業開始を予定している企業の事業計画による見込みと、第2期からの支援施策による増加分を見込んだもの。
	実績値	344	344							
	達成(評価)	B	B							
新規雇用者数 (人)	目標値	-	5	8	19	16	15	63		市内立地企業に新たに雇用された市在住の人数 ※立地企業の事業計画に基づく予定雇用者数の内、現在雇用している方を差し引いた人数の半数以上が地元雇用者と仮定し、地元雇用者数の70%を見込んだもの。
	実績値	-	20							
	達成(評価)	-	A							

【R2年度の総括】

目標値(製造品出荷額)360億円に対し、実績値が344億円であったことから達成評価はBとなった。
(H30年:3,440,836万円 R元年:3,442,855万円 前年比:+0.1% 2,019万円増)

達成に至らなかった要因としては、R元年より操業を開始した丸三産業(株)と、みすまる加工(株)の操業が一部操業のスタートとなったことから製造品出荷額が伸び悩んだものと考えられるが、県が分譲を行っていた川谷刈谷工場用地に(株)高知ミントヨの立地が決定し、市が分譲を行った旧ルネサス東駐車場用地についても(株)タケナカダンボールに分譲が決定する等、第2期の製造品出荷額増加と雇用の拡大につながる取り組みを進めることができた。

また、新規工業団地を整備するため適地調査を実施し、候補地の選定を行うとともに、立地企業の用地取得に伴う負担を軽減するため、香南市企業立地促進事業費補助金を制定し、企業誘致支援制度の充実を図った。

一方で、新たな目標の新規雇用者数については、20人となり、評価はAとなった。

目標達成の要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響によるマスクや包装フィルム製造業種等の特需により、大量に新規雇用をした事業所もあり、目標値を大幅に上回ることが出来た。

「既存企業の育成・支援」については、合同企業説明会を2回開催し、若者の地元定住につながる取り組みを行った。

また、企業訪問を強化し、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用や経営状況の把握に努めるとともに、各種支援事業の紹介を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値に達していない事業が多い結果となった。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度実績)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称	目標値							A/B/C	
企業の促進	○具体的な取組	実績値								
	◆ものづくりの基盤整備									
	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	1. 新規工業団地整備事業 【工業団地の選定】	目標値	-	候補地選定 適地調査	造成基本 設計	測量・造成 実施設計	用地 買収	造成 工事		地権者や地元説明後、候補地の造成基本設計を実施 (高知県工場用地整備事業費補助金を活用) ①周辺条件の把握及び土地利用条件等検討 ②用地区画、公共施設配置計画案作成 ③整地及び防災基本設計 ④団地造成計画区域内の道路・排水 公園・緑地基本計画の検討 ⑤工事費の概算算出 ⑥施工年次スケジュール作成
		実績値	-	適地調査 完了						
		達成(評価) (C)	-	A						
	【実施主体】 香南市 高知県			新規工業団地を整備するため適地調査を実施し、候補地の選定を行う。						
	【連携する分野】 -		R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	R2: 工業団地適正地検討資料作成委託業務 工業団地基本構想委託業務 【R2年度】 工業団地適正地検討資料作成委託業務を実施し、一次選定された7箇所の候補地の立地や有効面積、法規制の状況を整理し、共同開発を予定している県と協議を行ったうえで、二次選定の候補地5箇所を選定後、新規工業団地の最終候補地を決定した。 なお、基本構想委託業務(造成基本設計委託業務)については、最終候補地の地権者を始めとし、地元の土地改良区やまちづくり協議会等の関係機関に対して説明会を開催した後、R3年度に実施する。						
	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	2. 川谷刈谷地区工場用地の分譲 【分譲件数(件)】	目標値	1	1	-	-	-	-		分譲後も立地企業の円滑な操業開始となるよう、土地取得・設備投資の支援や企業説明会・面接会を開催し、雇用の促進と生産性の向上に繋がる支援を行っていく。
		実績値	0	1						
		達成(評価) (C)	C	A						
	【実施主体】 香南市			川谷刈谷地区工場用地(旧ルネサス東駐車場用地)への企業誘致を実施。						
	【連携する分野】 -		R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	R2.4 : 公募開始予定 (分譲開始予定) R2年度中: 分譲完了を目指す 【R2年度】 ・財産の処分議案を9月議会に提出(9/24議決) ・分譲地の地積更正及び合筆手続きの完了後、10月より公募を開始 ・R3.1.28 選定審査委員会 ・R3.2.1 分譲候補者を選定後、市長に上申 ・R3.3.1(株)タケナカダンボールと分譲契約を締結						

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H29年度)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	目標値							A/B/C		
企業誘致の促進	◆ 企業誘致支援制度の見直し										
	新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
	3. 香南市企業誘致条例の改正 【条例改正】 【支援件数(件)(R3~)】	目標値	条例 策定	条例 改正	1	1	1	1		香南市企業立地促進事業費補助金により、立地企業の用地取得に伴う負担を軽減し、雇用の促進と生産性の向上に繋げる。	
	【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	実績値	策定	策定							
	達成(評価) (C)	A	A								
	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	以下の現行の支援制度の見直しを行う。 ③ R3年度より新支援制度施行予定 ・香南市企業誘致条例による助成金(固定資産税の25%(3年間)) ※要件:投下固定資本額3千万以上、市内在住者及び在住予定雇用20%以上 【R2年度】 ・香南市企業立地促進事業費補助金を制定(R3.4.1施行) ▷要件:投下固定資本額 2,500万円以上 市内在住新規雇用者数:新設3名以上 ▷補助額:用地取得の1/10(上限3,000万円)									
既存企業の育成・支援	◆ 中小企業の技術向上&経営革新の支援										
	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
	1. 商談会開催事業 【商談件数(件)】 ※R2年度よりKPIに追加	目標値	-	50	50	50	50	50		引き続き高知県産業振興センターと連携するとともに、企業訪問等により商談会参加を促すことで受注拡大と販路拡大を図る。 なお、R3年度は「工場視察商談会」を12回、単独商談会を1回開催する予定であり、新型コロナウイルス感染症対策のため、適宜WEB商談を併用する。	
	【実施主体】 香南市 (公財)高知県産業振興センター 【連携する分野】 -	実績値	-	30							
	達成(評価) (C)	-	B								
	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	市内のものづくり企業に高知県産業振興センターが主催する商談会への参加を促し、受注拡大を図る。 ・香南市商談会開催事業費補助金 <商談件数> H29年度…60件 H30年度…40件 R元年度…32件(R元.10末現在) 【R2年度】 ・R2年度:30件(工場視察商談会22件、県単独商談会8件) ・新型コロナの移動自粛等により工場視察商談会12回を7回に変更									
既存企業の育成・支援	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
	2. 中小企業者の生産性向上支援事業 【先端設備等導入計画認定件数(件)】	目標値	30	30	-	-	-	-		香南市先端設備等導入支援事業費補助金により、企業の設備投資に係る負担を軽減することで認定件数の増加を図る。 ・企業訪問や懇談会による周知 ・商工会と連携し、商工会会員への周知	
	【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	実績値	8	16							
		達成(評価) (C)	C	C							
	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	市内の中小企業者等が、年3%以上の「生産性向上に繋がる設備計画(先端設備等導入計画)」を策定し、市の認定を受けたうえで実施する設備投資に係る固定資産税率を3年間ゼロにする。 ・先端設備等導入計画の認定(受付期間はR3年3月31日まで) ※R2年度受付分で固定資産税の特例措置は終了となる。 ・企業訪問や懇談会等で事業紹介を行うとともに、香南市商工会と連携して利用の促進を図る。 【R2年度】 国のコロナ支援として認定受付期間が2年間延長及び対象設備が拡充され、市の支援策として香南市先端設備等導入支援事業費補助金も制定したが、新型コロナウイルス感染症の影響による企業の設備投資の減少や周知不足により、目標値に届いていない。									
既存企業の育成・支援	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
	3. 香南市産業人材育成事業 (香南市産業人材育成事業費補助金) 【利用件数(件)】	目標値	5	5	5	5	5	5		企業訪問、企業合同説明会等で周知を行うとともに、引き続き高知職業能力開発短期大学校と連携し、事業利用件数の増加を図る。	
	【実施主体】 香南市 【連携する分野】 商業分野	実績値	1	5							
		達成(評価) (C)	C	A							
	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	産業の振興と雇用の維持を目的として、市内に事業所がある事業主や従業員等を対象に、人材育成に係る研修への参加、講師招聘に係る経費について、1事業所あたり年間20万円を上限として補助する。(補助率1/2) ・企業訪問や懇談会等で事業紹介を行うとともに、香南市商工会と連携して利用の促進を図る。 【R2年度】 企業訪問による事業案内や高知職業能力開発短期大学校と連携することで5件の事業利用に繋がった。									

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度実績)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	目標値										A/B/C
	○具体的な取組	実績値										
既存企業の育成・支援	新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
	4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成事業費補助金) 【利用件数(件)】	目標値	10	5	5	5	5	5		引き続き、企業訪問や懇談会等で事業者へ周知を図るとともに、城山高校合同企業説明会において、学生にも事業紹介を行うことで利用件数の増加を図る。 利用件数の増加とならない場合は、勤務形態の変化等を踏まえた制度改革を行う。		
		実績値	0	0								
		達成(評価) (C)	C	C								
	【実施主体】 香南市			人材の確保と市への定着を図る事を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成する。 (返還奨学金の1/2又は就労期間に10,000円を乗じた額のいずれか少ない額 ※最長8年間)								
	【連携する分野】 商業分野、観光分野			R2年度の具体的な事業内容 (P) (D) ・H28年度から本事業を開始したが、利用がないことからR2年度より要綱を改正し、新卒者のみでなく、中途採用(40歳未満の方)も対象とすることで利用の促進を図る。 ・企業訪問や懇談会での事業紹介を行うとともに、商工会や県内の学校と連携し利用促進を図る。 【R2年度】 要綱改正や企業訪問による事業案内、企業説明会等で事業周知を行い、1件の認定に繋がったものの、認定対象者の中途退職により助成金の交付に至らなかった。								
	新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
	5. 合同企業説明会の開催 【開催回数(回)】	目標値	-	2	2	2	2	2		・合同企業説明会の開催 (R3.9.10予定) ・城山高校での合同企業説明会 (R4.2.2, 2.9予定)		
		実績値	-	2								
		達成(評価) (C)	-	A								
【実施主体】 香南市 高知県			R2年度の具体的な事業内容 (P) (D) 企業合同説明会を開催することで、立地企業の魅力を紹介するとともに、円滑な人材確保の支援と若者の地元定着を図る。 ・R2年8月(予定)： のいちふれあいセンターで企業説明会を実施 ・R3年2月(予定)： 高知県立城山高等学校で企業説明会を実施 【R2年度】 9/18： 合同企業説明会 説明企業8社 (内市内企業6社) 参加者数17人 (H31実績:48人) 2/10： 城山高等学校企業説明会 説明企業7社 (対象:2年生 36人)									
【連携する分野】 -												
新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)			
6. ものづくり教育推進事業 【工場見学やものづくり体験学習実施回数(回)】	目標値	-	1	1	1	1	1		夏休み期間中に市内小学生を対象とした市内工業団地、工場を複数巡る工場見学ツアーを実施予定。			
	実績値	-	-									
	達成(評価) (C)	-	-									
【実施主体】 香南市			R2年度の具体的な事業内容 (P) (D) 次代を担う小中学生や高校生を対象に、工場見学の開催および「ものづくり体験学習」を実施し、地元企業との接点を設けることで地元の仕事を知り、地元で暮らすイメージを強めてもらう。 ・R2年度中に実施(1回) 【R2年度】 企業訪問による事業案内を行い、事業所の意向を伺ったものの、新型コロナの感染拡大の恐れがあるため、R2年度は見送ることとした。									
【連携する分野】 -												

第2期 香南市産業振興計画(KPI)

【観光分野】

数値目標1	年度	基準値 (100%達成)	R2	R3	R4	R5	R6	取組目標 値(取組)	5年間の達成(達成度合)	備考
観光施設入込客数 (万人)	目標値	120	107	110	114	117	121	569	観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。 (暦年1-12月の合計) 【対象10施設】 ①県立のいち動物公園・・・148,066 ②月見山子どもの森・・・26,181 ③ヤ・シィパーク・・・297,842 ④絵金蔵・・・3,806 ⑤天然色市場・・・0 ⑥やすらぎ市・・・206,573 ⑦あぐりのさと・・・19,555 ⑧黒潮温泉・・・87,636 ⑨創造広場「アクトランド」・・・57,136 ⑩土佐カントリークラブ・・・60,998	
	実績値	104.5	90.7							
	達成 (評価)	B (※11 施設)	B							

※第1期(H27-R元)は備考欄10施設に加え、香南市サイクリングターミナルの宿泊以外の利用者数を計上。

■取り組みの内容について

【R2年度の総括】
観光分野では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言や移動自粛、インバウンド需要の激減に加え、11月末から12月にかけての高知県内での感染拡大や施設の一部休業等により、観光施設入込客数は目標値107万人に対し、実績値が90.7万人(達成率85%)であり、前年度比8%となった。

落ち込んだ入込客数の回復のために「香南市で遊ぶ割」キャンペーンや「香南市で泊まってもらおうクーポン券配布事業」を行ったが、感染拡大によりR2年12月28日からR3年2月末までの期間、事業の停止を余儀なくされた。

R3年度は、「香南市で遊ぶ割Vol.2+泊まろう割」キャンペーンを4月28日から8月31日まで実施し、観光入込客数の回復を図る。
また、道の駅やすらぎにレンタサイクル施設を整備し、自転車による市内の周遊促進を図る。
なお、天然色市場では、指定管理者による飲食可能な産直市が8月より開業予定となっており、数値目標である観光施設入込客数約6.4万人の増加が見込まれる。

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (100%達成)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	目標値								A/B/C		
香南市観光の発信	◆情報発信手段の効果的な活用											
	新規・拡大・継続			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	1. 香南市のPR活動の強化 【イベント参加数 (日曜日+高知新港PR) 【実施回数(回)】			目標値	-	25	25	25	25	25		コロナの感染状況を見極めつつ、出店スケジュールや寄港日程を見て、出店可能な日には出店し、香南市のPRを行う。 日曜日に関しては香南市の広報誌等により出店者を募集し、出店できる事業者を優先とし出店を行い、香南市の特産品等のPRを行い香南市の認知度向上を行う。
				実績値	-	8						
				達成(評価) (O)	-	C						
	【実施主体】 香南市 (一社)香南市観光協会 【連携する分野】-			R2年度の具体的な事業内容 (P) (D) 観光客や外国人の来訪が期待される日曜市と高知新港へのイベント出店による観光・特産物PRで香南市の認知度向上につなげる。 【日曜日】：R2年度・・・15回/年 【高知新港】：R2年度・・・10回/年 【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響から、日曜市は4/19が中止になった。 また、5/10から5/31の間は時短営業をおこなったため、市町村での出店は自粛した。 高知新港の寄港については、2回のみだった。 【日曜日】 7回(7/12、8/2、9/13、11/15、12/27、2/7、3/21)うち観光協会出店1回 7/12の出店ではエコバック有料化に伴い、制作したこーにゃんのエコバックをお買物客へプレゼントした。 【高知新港】 1回(11/30) 高知県の寄港もなく、出店したのは飛鳥II 1回のみ。 県からの要望でGoToトラベルキャンペーン地域共通クーポンの使用ができると尚良しとのことで、申請し、クーポンを使用してもらった。 (高知新港寄港実績は2回だが、12/16の寄港の際は県内での感染拡大のため出店を見合わせた。)								
	新規・拡大・継続			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	2. 香南市のPR活動の強化 【HPアクセス件数(件) (香南市観光協会HP+ Guidoor(多言語観光サイト)の合計)			目標値	-	125,000	128,750	132,600	136,600	140,700		引き続き香南市のPR・情報発信を行う。 HPをリニューアルしスマートフォンに対応できるように取り組みを進める。 また、インバウンド需要の回復を見極めながら、Guidoor(多言語観光サイト)への香南市ページ開設を行う。
				実績値	-	110,799						
				達成(評価) (O)	-	B						
【実施主体】 香南市 (一社)香南市観光協会 【連携する分野】-			コンテンツの充実を行うとともに、香南市全体の観光情報・イベント情報を更新および発信するとともに、HPへのアクセスを誘導するステッカー・ポスターを配布し観光情報を広く発信する。 R2：タブレット端末からの閲覧・外国語に対応したHP作成(事業主体：(一社)香南市観光協会) R2.6月：Guidoor(多言語観光サイト)への香南市ページ開設(事業主体：香南市) 【R2年度】 【HP訪問者数】 63,436 【ページビュー数】 110,799 HPのトップアクセスは「香南市はなめぐり」と「香南市で遊ぶ割」キャンペーンが上位5位までしめている。 香南市観光協会が発信するSNS(HP、Facebook、ライン、Instagram)にて香南市のイベント情報の更新・発信を行った。 HPアクセスを誘導するステッカーは作成していないが、「香南市で遊ぶ割」キャンペーンのチラシ・ポスターに掲載したQRコードよりキャンペーン特設ページへのアクセス誘導、香南市はなめぐり2021チラシ、西川花公園、かがみ花フェスタチューリップまつり、ふるさと寄附金同梱の各ポストカードに掲載したQRコードからHPへの誘導に取り組んだ。 また、FacebookやInstagramからの誘導も行った結果、Facebookからの誘導が一番多かった。 また、外部のサイトへも情報掲載を行っているが新たにまなび場サーチ、ココハレ(高知新聞社)、高知銀行よさこい「お客支店」よさこいおきやく情報室」にも掲載し、香南市のイベント告知の窓口を広げる取り組みを行った。									

新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	3. SNSを活用した情報発信 【フォロワー数(人)】 (LINE+Instagram+Facebook) ※香南市観光協会の各SNSを対象	目標値	-	3,500	4,000	4,500	5,000	5,500	
【実施主体】 (一社)香南市観光協会 【連携する分野】-	実績値	-	4,306						様々なツールを用いた情報発信を行い、香南市の観光情報・イベント情報をリアルタイムで発信する。 R2：閲覧数や「いいね」の数等傾向を分析・把握し、フォロワーのニーズに即した訴求力の高い情報を発信する。 【R2年度】(前年比) Facebookは、香南市観光協会876(+60)、こーにやん514(+18)、土佐塩の道トレイル1262(+143)、マリンフェスティバル49(+1)。 ラインターゲットリーチのみ522(+17)、Instagram1083(+333)。 R2年はInstagramユーザーが大幅に増えた。 (男女比ほぼ同じ約50%、年齢層35-44歳が33.3%、曜日によるアクセスの変化はほぼなし、アクセスの多い時間帯は18時以降だが、朝・昼・晩の時間にアクセスしている。)情報を更新することでユーザーが増えるため、有益な情報や美しい情報を発信し、アフターコロナで訪れたい町になるように取り組んだ。 動画も反応が良かったため、今後も適宜取り組む。
	達成(評価)(D)	-	A						
◆核となる観光拠点の形成									
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	1-1. ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト 【道の駅やす入込(人)】	目標値	-	289,000	292,000	295,000	298,000	301,000	
【実施主体】 株式会社ヤ・シィ 高知県 香南市 【連携する分野】	実績値	-	268,617						◆ヤ・シィパークの整備に向けた協議及び合意形成、整備の実施 ・活性化協議会を通じた整備方針の検討及び意見反映、適切な維持管理の実施、観光拠点化に向けた運営体制の確立 [実施主体:株式会社ヤ・シィ] ・商業施設部分の振興やアクティビティについて、活性化協議会を通じた整備方針の検討 [実施主体:香南市] ・活性化協議会を通じた整備方針の策定及び整備の検討、ヤ・シィパークの観光拠点化に向けた関係者間の合意形成、維持管理の継続実施 [実施主体:高知県] 【R2年度】 ・マリンスポーツ体験実施 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、マリンフェスティバル、香南市の手結盆踊り花火大会、年2回開催されるゴルフ大会等のイベントがほとんど中止となった。 また、感染拡大防止のためGW期間中に休業を行ったこと等により、目標を達成することが出来なかった。 しかし、年度後半はコロナ感染防止対策を徹底して行った屋外イベントを数回誘致した。 また、海水浴も感染対策を徹底したうえで期間を短縮して開催した。 イベントでの大型集客は見込めなかったが、コロナ禍において近場で安心して過ごせる公園・海浜利用の家族連れが増加した。 ◆ヤ・シィパークの整備に向けた協議 ・(株)ヤ・シィ、県、市の3者協議を実施(6/16) ・(株)ヤ・シィと土木事務所とのR2発注関係(突堤、ボードウォーク等)の協議(4/13、8/28) ・第8回ヤ・シィパーク活性化推進協議会(R2年度1回目)の開催(12/23) ・コアメンバー協議の実施(2/19、3/25)
	達成(評価)(D)	-	B						
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	1-2. ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト (manamana) 【売上高(千円)】	目標値	52,578	54,611	55,030	55,448	55,867	56,285	
【実施主体】 株式会社ヤ・シィ 高知県 香南市 【連携する分野】 県物部川アクションプラン NO.13 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の促進	実績値	26,868	18,171						◆売上アップに向けた取り組みの強化 ・内部の体制強化 ・店舗の運営体制の強化、新商品の開発、アイスパーの生産体制の強化、ミーティングの実施 [実施主体:株式会社ヤ・シィ] ・店舗の周知 ・イベントへの出店・出品、自主イベントの開催、情報発信 [実施主体:株式会社ヤ・シィ] ・外販の強化 ・商談会への参加、外販活動の強化 [実施主体:株式会社ヤ・シィ] ・販売機会の増加のための「れんげいこうち」事業等の情報提供、店舗の運営の状況把握 [実施主体:香南市] ・新商品開発や店舗の経営改善のための産振アドバイザー制度の活用、商談会やコンテスト等の情報提供研修会の案内、販路開拓等の 事業者の課題解決のための関係部署からの情報収集と伝達 [実施主体:高知県] 【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響によるGW期間中の一時休業やイベント商談の中止、感染防止策に努めた客席の間引き営業等の影響から、売上高は目標値に比べて大幅減となった。 ◆新商品の開発 ・スイーツ2商品(5月、11月～)、ランチ7商品(うち3商品は期間限定)(8月、10月～)、長太郎君を使った炊き込みごはんの開発開始(7月) ・沖繩県八重瀬町とのコラボ企画で期間限定メニュー2商品の提供(7月下旬～8月上旬) ◆イベントへの出店・出品 ・観光コンベンション協会こうちアイスクーポンへ参加(ヤ・シィフルーツ)、TSUNAGUマーケット(イオンモール高知)へ出店(7/4、7/5) ・ヤ・シィらんどへの出店(10/17～18)、ふるさとまつりへの出品(観光協会)(11/15)、香南ケーブルテレビによる宣伝(6/1～30) ・ほっとこうち10月号への掲載 ◆商談会への出席 ・まるごと高知との商談(6/30)、高知県産品商談会(10/27、11/25)、四国銀行オンライン商談会(3/4) ◆新規成約 ・ミニストップ(株)(カタログ:夏ギフトに採用)、(株)ハツトリ(高知県、小売)※取引再開、(株)マルシメ(秋田県:小売) ・マックスリュウ東海(静岡県:WEB販売)、(株)ARAN(愛知県:卸販売)、(株)TBSグロウディア(東京都:EOサイト・カタログ) ・やすらぎ市(高知県:直販所)、五味商店(株)(千葉県:卸販売)、リンベル(株)(東京都:EOサイト) ◆HACCPへの対応 ・県版HACCP認証に向けた書類作成講習会参加(9/16)、県版HACCP第2ステージ認証取得(3/8)
	達成(評価)(D)	C	C						

香南市観光の発信

観光の育成に向けた取り組み

新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
2. 三宝山エリア活性化促進プロジェクト [地域と連携した高知県産ワインの ブランド化促進事業] 【千円】 ※R5年度以降の数値目標は県アクションプランと 足並みを揃え、ワイン及びグロサリー商品の売上 高とする。 R6年度については次期県アクションプラン記載分 と調整を図る。	目標値	-	醸造所 建設	醸造 開始	グランド オープン	59,120	-		R3年度(8月)に予定されているブドウの収穫 後、醸造所を稼働させ、メイドイン高知のワイン 醸造を開始する。 高知県産ワインの醸造の拠点として、稼働して いくことで、香南市の産業振興に寄与している。 また、R2年4月には、高知県、香南市と「環境 先進企業との森づくり事業」パートナーズ協定 を締結し、官民一体となった取り組みも行って いく。 加えて、井上ワイナリー(株)は、香南市へ移転 する。
	実績値	-	醸造所 完成						
	達成(評価) (C)	-	A						
【実施主体】 井上ワイナリー株式会社 井上石灰工業 株式会社 高知県 香南市 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.11 高知県産ワインの生産拡大及びブランド化 の推進	R2年度の 具体的な 事業内容 (P) (D)	<ul style="list-style-type: none"> ◆栽培面積の拡大 R2～R6 : 圃場の確保・収量の拡大 ・耕作放棄地の活用、県内各地の集落活動センターとの連携、自社圃場の拡大 [実施主体:井上石灰工業(株)] ◆醸造・生産体制の確立 R2～R3 : 醸造施設の建設、醸造免許の取得、醸造準備 [実施主体:井上ワイナリー(株)] R3～R6 : 醸造施設の安定的な運用、人材の育成 ◆ブランドの確立 R2～R6 : 高知県産ワインとしての認知度向上と個人顧客の獲得 ・空港等での広告、PRイベントの実施、新酒発表会の開催 ・ふるさと納税商品への採用 [実施主体:井上ワイナリー(株)] ◆他事業者との連携 R2～R6 : グロサリー商品の開発と販路拡大 ・地元食材を取り扱う事業者と連携した、様々なグロサリー商品の開発及び販売 [実施主体:井上ワイナリー(株)] ※三宝山一帯の再開発推進として高知県と一体となり本事業を支援。[香南市] <今後の予定> R2: 造成及び醸造施設 建設 等 R3: 醸造開始 R4: グランドオープン 【R2年度】 R2年度は、香南市産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し、醸造所の建設及び機整備を行った。 これに伴い、酒造免許の取得も行うことができた。							

◆ 広域観光の推進

新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
1. 物部川エリア観光連携事業 【対象9施設入込客数(人)】	目標値	711,000	777,000	815,000	855,750	898,600	944,000		コロナの影響で、少人数での旅行実績が増えている。 個人旅行向けのコンテンツやレンタカープランを充実させ、 販路の開拓も行う。 教育旅行(修学旅行)や遠足の需要も増えているため、近 隣県や県内へのセールス活動を実施し、当エリアでの入 込客数の増加を図る。 また、コロナの感染状況を見極めながら、情報発信等や観 光商品を充実させることにより、メインターゲットである関 西圏からの誘客を図る。
	実績値	707,185	460,082						
	達成(評価) (C)	B	C						
【実施主体】 (一社)物部川DMO協議会 高知県 (一社)香南市観光協会 香南市 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.20 物部川地域における広域観光の推進	R2年度の 具体的な 事業内容 (P) (D)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 R2～R3: 物部川DMO協議会の組織体制の強化 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ・日本版DMO登録に向けた取組の推進及び登録、マーケティング機能強化 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] R3～R6: 物部川広域観光振興中期計画の更新及び集客戦略の立案・実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] R3～R6: 地域内での連携体制の整備・運営 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会、(一社)香南市観光協会、香南市] ◆ 観光商品の充実 R2～R6 : 観光商品の充実 ・関係団体や事業者、大学等との連携による新たな観光資源(体験メニュー等)の発掘・磨き上げや、土佐の観光創生塾等を 通じた商品づくりへの支援 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ・関係団体や事業者等との連携による新たな観光資源(体験メニュー等)の発掘・磨き上げや土佐の観光創生塾等を通じた商品づくり [実施主体: (一社) 香南市観光協会] ・旅行商品の企画造成 ・物部川流域圏内での周遊ツアー、地域イベントを組み込んだツアー商品等、旅行業を活用した旅行商品の企画造成 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ◆ 観光客の広域誘致 R2～R6 : 戦略的なセールス・PR ・ターゲット層及びエリアに即した旅行エージェンツセールスの実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ・ターゲット層への訴求力のある媒体を活用したエリア情報発信の実施 ・広域観光パンフレットやHP、SNS等を活用した エリア情報発信の実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ◆ 地域連携による周遊促進 R2～R6 : 連携企画等の実施 ・圏域一体での観光地域づくりの意識醸成と圏域内への周遊促進を図るため、地域内の関係者連携による企画等を実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ◆ 物部川地域の観光に携わる人材の育成 R2～R6 : 連携企画等の実施 ・広域観光推進のための知見の拡大・共有を目的とし、先進地視察や圏域内の観光情報の共有のためのエリア内研修の実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ・県等が実施する研修の情報提供 [実施主体: 高知県] <対象施設> 南国市: 西島園芸団地、高知県立歴史民俗資料館 香南市: 高知県立のいち動物公園、創造広場「アクトランド」、絵画蔵 香美市: 香美市立やなせたかし記念館、龍河洞、べふ峡温泉、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート 【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響による、移動自粛・イベント中止・感染拡大による施設の休館等により目標を達成することが出来なかった。							
【実施主体】 (一社)物部川DMO協議会 高知県 (一社)香南市観光協会 香南市 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.20 物部川地域における広域観光の推進	R2年度の 具体的な 事業内容 (P) (D)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ・物部川エリア内での観光の受入強化の為、DMO協議会の組織形態を磐石なものとするため、新規会員の加入を推進した。 ※ 全35団体 (正会員:15団体、準会員:7団体、賛助会員:4団体、協力会員:5団体、連携団体:4団体) ◆ 観光商品の充実 ・OTAを活用した体験観光の受入強化の為に「Kkday」へのセールスを実施。 ※ 契約件数2件(絵画蔵他) ・土佐の観光創生塾(地域づくり塾)での商品造成のための担当者会を開始。 ※ 地域観光の舵取り役としての人材を育成するための事業「SSS(スリーエス)認証制度」を軸とした観光周遊コース(プラン)の造成を実施。 1月以降、エリア内飲食店にも参画いただき「安心、安全」で観光を実施するための施設強化を図った。 ・商品造成のための契約の実施 : エリア内観光施設及びホテルとの旅行業契約を実施(4社) ・2021秋開催の「JRグループDCキャンペーン」に合わせた、JR四国との共同での貸切観光列車のプラン造成。 ※ 貸切観光列車内での案内ガイドの提案、視察の受入。(10月-12月運航予定)社内で提供する土産もの提案、取りまとめ。 ◆ 観光客の広域誘致 ・ターゲット層及びエリアに即した旅行エージェンツセールスの実施 【10/7: 高知県観光説明会(高知市)、10/12: 高知県観光説明会(名古屋)、10/13: 旅行エージェンツ個別訪問商談(4社)、 10/20: 高知県観光説明会(東京)、10/21: 個別訪問商談(2社)】 ・パンフレットやHP、SNS等を活用したエリア情報発信の実施:物部川エリアの情報発信の為にキャンペーンを実施。 (キャンペーン期間:8/29-9/14) ※ 新規登録者数:418名(Twitter登録者数778名) ◆ 地域連携による周遊促進 ・10/11に開催予定であった「もべがわフェスタ」の開催を断念。 1日の単独イベントではなく本来の目的である「エリア内周遊」の観点より、11/1から11/30迄の期間で「もべがわフェスタ、ガチャ祭り」を企画、準備。 また、物部川エリアの掲げる「子どものココロの成長」にちなんで「オンラインもべこどもクイズ王決定戦」を10/11に開催 ・「海洋堂SpaceFactoryなんくるのオープンに合わせ周遊イベント「ガチャ祭り」を実施(R3.3/6-4/25) ■その他、広域観光推進のための実施事業 旅行エージェンツ、等の視察行程作成および実施(アテンド)、受入体制強化の為にガイド育成(3/2研修会の実施)、香美市観光ガイドの会(主催:香美市 観光協会)委員、事務局補助として活動。							

観光の育成に向けた取り組み

◆ スポーツツーリズムの推進

新規・ 拡大 ・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
1. サイクリングイベントの開催 【サイクリングイベント参加者数(人)】 ※ R6年度末累計 4,150人 ▶ 4,170人 ※サイクリング専門部会の目標値の積算に誤りがあったことから、朱書きの□の数字に改める。	目標値	-	500 (580)	720 (780)	840 (850)	960 (920)	1,130 (1,040)		新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、少人数での開催を行う。 ポタリングは、毎月第2土曜日で年間12回(定員:15人/回)を予定。 健康サイクリングは7月から第1日曜日を「健康サイクリング開催の日」として定期的に開催していく。
	実績値	-	106						
	達成(評価)(%)	-	C						
【実施主体】(自転車) NPO法人 高知CyclingProject Maze-Cle (一社)香南市観光協会 (一社)物部川IDMO協議会 高知県シクロクロス実行委員会 土佐くろしお鉄道 香美市 南国市 香南市 【連携する分野】 サイクリング専門委員会 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	R2年度の具体的な事業内容 (P)	自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、出店や市内飲食店等の収益増につながる大会として開催。 R2 : イベントの開催(三宝山ヒルクライム、ツール・ド・トレイン、ポタリング、シクロクロスカップ) 【実施主体 : NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle、高知県シクロクロス実行委員会】 R3~ : イベントの開催(上記のイベント + 3市ロングライド) 【実施主体 : NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle、高知県シクロクロス実行委員会、土佐くろしお鉄道、香美市、南国市、香南市】 ※ 事業の詳細については「サイクリング分野」の資料を参照。 【R2年度】 ① 三宝山ヒルクライム : R2.10月予定 → コロナのため未開催 ② ツール・ド・トレイン : R2.10.31実施、参加22人 ③ ポタリング : 45人 (8/8:5人、10/24:13人、11/14:10人、2/27:8人、3/27:9人) ④ シクロクロスカップ:コロナのため未開催 ⑤ 3市ロングライド : 未開催 (※物部川流域3市(香南市・香美市・南国市)と一緒に、少人数の体験観光として取り組んでいく。) ⑥ 健康サイクリング : 39人(1/31:18人、2/7:21人)							
新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
2. 塩の道を活用したイベントの開催 【塩の道を活用したイベント参加者数(人)】 ① トレイルランニングレース ・25kmコース : 270人 ・60kmコース : 70人 ② 30kmうおーく : 100人	目標値	500	440	450	460	470	470		継続してウイズコロナで大会準備・受入を行っていく。 土佐塩の道30kmうおーくは5/15日に開催予定。第10回土佐塩の道トレイルランニングレース2021は運営面を考慮し、ミドルコース1カテゴリーとし、募集人数を400名とする。 ITRAポイント申請を行う。
	実績値	595	182						
	達成(評価)(%)	A	C						
【実施主体】 (一社)香南市観光協会 土佐塩の道保存会 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	R2年度の具体的な事業内容 (P)	塩の道を活用したイベントを開催し、塩の道の次世代への継承と観光客増加をはかる。 R2.10月: 塩の道トレイルランニングレース開催【実施主体 : (一社)香南市観光協会】 R3.3月 : 30kmうおーく開催【実施主体 : 土佐塩の道保存会】 ※ 前日イベントの開催(講師を招いての講習会・交流会等を実施) ※ ITRAR (国際トレイルランニング協会)への登録 【R2年度】 第9回土佐塩の道トレイルランニングレース2020はエントリー206名(出走182名)。 土佐塩の道ガイドウォークは1名。合計207名の申込、体験は183名であった。 ITRA行った60kmロングコースはコロナ対策の為コンパクトな大会運営を行うために催行しなかった。 土佐塩の道30kmうおーくについては、R3年3月に開催を予定していたが、コロナの影響によりR3年5月15日に開催。 (※ 98人参加)							
新規 ・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
3. マリンスポーツの推進 【大会参加者数 + マリン体験の参加者数(人)】	目標値	-	230	240	240	260	270		各地域の警戒レベルを見ながら、県外の方の受け入れを判断していく。この施設なら安心して体験できると思われるように、コロナ対策を万全にしてお客さんを受け入れる。 R3年度は新型コロナウイルスの影響で既存の修学旅行先から当施設への修学旅行の予約が既に入ってきており、そういった需要を取り込んで、マリン体験の参加者数の増加を図る。
	実績値	-	174						
	達成(評価)(%)	-	B						
【実施主体】 NPO法人YASU海の駅クラブ 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	R2年度の具体的な事業内容 (P)	香南市マリンスポーツ施設やヤ・シィパークを活用した大会を開催するとともに、来訪者が手軽にマリンスポーツを満喫できるようマリン体験(SUP、ディンギー・ヨット等)を実施し、マリンスポーツの推進をはかる。 ・ 香南市マリンスポーツ施設やヤ・シィパークを活用したマリンスポーツ大会の開催 R2.5月 龍馬カップ(ヨット大会) R2.9月 アクセスディンギー ハンド in ハンド R2.10月 ヤ・シィ カヤックマラソン(シーカヤック) ・ 香南市マリンスポーツ施設・ヤ・シィパーク等関係施設と関係団体の連携による沿岸域を利用したスポーツツーリズムの体験メニュー構築 【実施主体 : NPO法人YASU海の駅クラブ】 【連携団体 : 株式会社ヤ・シィ・(一社)香南市観光協会・(一社)物部川IDMO協議会】 【R2年度】 R2 9月 アクセスディンギー ハンド in ハンド【中止】 R2.10月 ヤ・シィ カヤックマラソン(シーカヤック)【中止】 R2.10月 スポーツツーリズム【スポーツハブ事業 SUP & フライングディスク体験】→連携団体 こうなんスポーツクラブ R2.11月 龍馬カップ(ヨット大会) R2.11月 スポーツツーリズム【スポーツハブ事業 SUPCAFE & ハンザクラス体験】→連携団体 こうなんスポーツクラブ R2. 2月 ユニバーサルビーチ【観光庁誘客多角化事業実証実験】 ▶ 連携団体 : 近畿日本ツーリスト・(株)ヤ・シィ・(一社)物部川IDMO協議会 新型コロナウイルスの影響で、2つの大会と6校の学校体験が中止となった。 当施設での活動は屋外であることから、比較的に密になりにくい事もあり県内外の学校の体験申し込みがあったが、感染拡大の影響を考慮して県外の学校、団体の受け入れは中止した。県内の学校については今年度初めて来て頂けたところもあり、次年度へ繋げていく事を取り組んだ。 県外の学校、団体については状況が落ち着いたら、来て頂けるように関係各所と連携、連絡を行った。							

観光の育成に向けた取り組み

◆ おもてなしの向上									
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
1. 香南市案内人会の拡充 【案内人会会員数(人)】 会員数:24人(2人増、1人減)	目標値	26	26	28	30	32	34 (延べ)		新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、会員増に向けた勧誘や広報に組み込み、ガイド受入可能な体制の強化を図っていくとともに、ガイド技術向上のための勉強会や研修会を開催する。
	実績値	23	24						
	達成(評価)(C)	B	B						
【実施主体】 香南市案内人会 【連携する分野】-	R2年度の具体的な事業内容(P) (D)	会員増に向けた勧誘や広報に組み込み、ガイド受入可能な体制の強化を図っていくとともに、ガイド技術向上のための勉強会や研修会を開催する。 ・他団体との連携を強化したガイドの実施 ・高知県観光ガイド連絡協議会HPを活用した情報発信 ・OTA(Online Travel Agent)への登録 【R2年度】 コロナ禍でもガイド受入等の活動を行うことにより、会員の増に繋げる取り組みができた。 ・受入実績:4回(県立大2回、遊ぼう割2回) ・高知県観光ガイド連絡協議会総会:書面決議 ・避難訓練実施:1回							
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
2. 外国人観光客受入研修の実施 【参加事業者数】 ※ R6年度末累計 50事業者	目標値	5	10	10	10	10	10		新型コロナウイルス感染症が世界でも感染拡大し、今のところ終息が見込めない。また、コロナ終息後の観光客の受入体制についても、コロナ前とは変わることも想定されるため、感染状況を見極めながら、R3年度以降に開催する。
	実績値	3	-						
	達成(評価)(C)	B	-						
【実施主体】 香南市 【連携する分野】-	R2年度の具体的な事業内容(P) (D)	観光関係事業者向けインバウンド研修を開催し、文化やマナー、接客英語の習得を促し、外国人観光客とのコミュニケーション能力向上へ繋げる。 【開催時期】 (講師:民間企業を予定) R2.9月:全体セミナー R2.10月~R3.3月:個別セミナー 【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により、開催はすべて見送っている。 外国人観光客受入研修はR3年度以降に実施する。							
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
3. アンケート調査の実施 (観光地点パラメータ調査)	目標値	-	調査	-	-	-	-		R3年度も物部川エリア3市を訪れた方にアンケート調査を行うことにより、旅行者のニーズ等を把握し、それを観光施設に情報提供することにより、お客様満足度と入込客数の増加を図る。
	実績値	-	実施						
	達成(評価)(C)	-	A						
【実施主体】 香南市 (一社)物部川DMO協議会 【連携する分野】-	R2年度の具体的な事業内容(P) (D)	香南市を訪れた観光客を対象としたアンケート調査を実施し、観光客の属性・消費傾向等を把握する。また、効果的な観光施策を展開していくための基礎資料とし、調査結果を個々の取り組みに反映する。 ・調査地点: R元年の入込客数が1万人以上・もしくはR元年の特定月の入込客数が5千人以上である観光施設(日常利用・通過型の利用が大半を占めると考えられる地点は対象外)従業者数10人以上の宿泊施設から抽出 ・調査事項: 観光入込客の居住地、性別、年齢、日帰り・宿泊別、宿泊施設、旅行目的、同行者数、市内訪問観光地点名、市内観光消費額単価等 ・調査周期: 四半期毎(1~3月、4~6月、7~9月、10~12月) ・実施時期: 四半期に含まれる休日1日、当該四半期の観光入込客の平均的な訪問地点数、観光消費額単価が把握可能と考えられる日。 ※当調査により「市内観光消費額」を算出し、第2期計画の途中から、数値目標として示していきたい。 【R2年度】 旅程の途中であればきちんとした消費額の調査が不可能になるため、R2年度は予算額を調査することとした。R3年度度は、アンケートの実施方法について検討し、消費額についても調査対象としていく。 ※7/23~3月末 合計サンプル数:1,140件(回答率:17.3%) ・顧客満足度調査の為のアンケートの実施(7月23日~26日) 開催場所:道の駅南国、道の駅やす(155サンプル) ・顧客満足度調査の為のアンケートの実施(実施施設:28箇所) 実績)8月:72サンプル、9月~11月:497サンプル、12月~3月末日:416サンプル							

受入体制の強化

受入体制の強化

数値目標1	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値 (累計)	5年間の達成 (達成度合)	備考
サイクルイベント 大会参加者数 (人)	目標値	-	500 (580)	720 (780)	840 (850)	960 (920)	1,130 (1,040)	4,150 (4,170)		下記イベント・大会参加者数 【対象イベント・大会】 ① 三宝山ヒルクライム:未開催 ② ツールド・ド・トレイン:22人 ③ ポタリング:45人 ④ シクロクロスカップ:未開催 ⑤ 3市ロングライド:未開催 (※R3から) ⑥ 健康サイクリング:39人
	実績値	181	106							
	達成 (評価)	-	C							
サイクルサポーター数 (団体)	目標値	-	10	5	5	5	5	30		香南市自転車活用推進計画において、イベント開催時に、サポートスタッフや出店等をもって取り組む実働をもった参加型サポーター制度を構築する。 自転車利用促進に参画し、実際に活動してもらえ事業所・団体を対象とする。
	実績値	-	6							
	達成 (評価)	-	B							

■取り組みの内容について

【R2年度の総括】

数値目標である「サイクルイベントの大会参加者数」は、新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止や計画の見直しによる延期で目標値を超えることができなかった。
しかし、新しいイベントとして、子どもの「キッズバイク」イベント(参加者:136人)等、新しいイベントも創出されている。今後はコロナ禍で、小規模化を図る等、イベントを開催できるようにしていく。
尚、「サイクルイベントの大会参加者数」は6つのイベント・大会の参加者数の合計であるが、各事業の目標値の合計数と数値目標の数値に誤りが見られたため、修正を図るものとする。

サイクルサポーターは、現状、サイクルオアシス認定をされている団体のみの数になっている。
R3年度は、サイクルサポーター制度を確立させ、①思いやり1.5mステッカーの配布、②ヘルメット購入助成、③サイクルラック貸出、④駐車場の整備補助、⑤イベント等への協力を踏まえ、サポーター登録へのメリットを広報等でPRし、サイクルサポーター数を獲得していく。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組	実績値								

◆ サイクルツーリズムの推進

新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
1. レンタサイクル推進事業 【レンタサイクル貸出数(台)】 ※R4.1月に道の駅やすにレンタサイクル施設が設置されることから、R4年度以降のKPIについては上方修正を検討していく。 ★自転車活用推進計画内で方針詳細を決定する。 【実施主体】 サイクリングターミナルのいち駅 創造広場「アクトランド」 香南市 【連携する分野】 観光分野 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	目標値	2,100	2,500	2,600	2,700 →策定中	2,800 →策定中	2,900 →策定中		R4.1月、道の駅やすにレンタサイクル施設を設置。(株)ヤ・シィがレンタサイクルを行い、サイクリングターミナルと2つの拠点として連携し、観光事業を担っていく。 R4.1月に完成予定なので、R3の目標値は修正しないがR4年度分から修正を行う。 また、R4年度からは、NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle等が主催するツアーを市民や観光客に向けて実施する。 今後も、自転車を持たない人にレンタサイクルを勧め、推進につなげていく。
	実績値	2,156	2,361						
	達成(評価) (○)	A	B						
2. サイクリングのPR 【PRイベント参加回数(回)】	目標値	-	3	4	4	4	4		R3.7月に開催予定のサイクルパーツ合同展示会(大阪)への出店計画をしている。 また、今年度に完成のパンフレットやこれまでの成果物を県外開催イベントや県内外の観光施設等に発送し情報発信していく。
	実績値	-	-						
	達成(評価) (○)	-	-						
【実施主体】 香南市 (一社)香南市観光協会 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle 【連携する分野】 観光分野	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	サイクリングコースパンフレットを作成し、市内外施設・自転車店等での配布を行う。 併せて香南市のHPや各自転車団体の運営するSNSを活用しPRする。 また、県内外のサイクルイベントに参加し、香南市について対面PRを行い、サイクリストの誘致へと図る。 R2. 5月: 市内8コースのサイクリングコースを掲載したパンフレットを作成し、配布。【香南市】 ※ キャッチフレーズ「チリリンこうなん! (仮)」を使用予定。(作成期間は2カ月を予定) 【香南市】 ※ 完成に合わせて市HPやSNSでも情報を掲載する。 R2. 8月: シマノ鈴鹿ロードへの参加 【香南市・香南市観光協会】 R2.10月: サイクリングしまなみへの参加 【香南市・香南市観光協会】 R3. 1月: サイクルパーツ合同展示会への参加 【香南市・香南市観光協会・Maze-Cle】 R3. 5月: 仁淀ブルーライドへの参加 【香南市・香南市観光協会・Maze-Cle】 【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、参加予定の自転車イベントがすべて中止となった。 【イベント中止報告】 R2. 8月: シマノ鈴鹿ロード R2.10月: サイクリングしまなみ R3. 3月: サイクルパーツ合同展示会※R3. 1月からの変更 R3. 5月: 仁淀ブルーライド							

観光(サイクリスト誘致)

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (R3年度標準)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称		目標値							A/B/C		
	○具体的な取組		実績値									
観光(サイクリスト誘致)	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【R3年度の取り組み内容】(A)	
	3-1. イベント・大会の開催 (三宝山ヒルクライム) 【参加者数(人)】	目標値	-	100	150	150	150	150			R3年度は5/29に、NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleが三宝山を舞台に「ドラゴンヒルクライム」を開催する。新型コロナウイルス感染症に配慮し定員30人で開催を予定。このことからKPIは30とする。尚、大会の開催状況を見て、年度内に再度開催するかを検討する予定。	
		実績値	-	-	-	-	-	-				
		達成(評価)(o)	-	-	-	-	-	-				
	【実施主体】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle 等	【連携する分野】 観光分野 / 商業分野 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	R2年度の具体的な事業内容	R2 : 開催調整(完了後募集周知開始) [NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle、香南市] R3.2or3月 : イベント開催	【R2年度】 当初、R2.10月の開催に向けて準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント開催は中止とした。							
	新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【R3年度の取り組み内容】(A)
	3-2. イベント・大会の開催 (ツール・ド・トレイン) 【参加者数(人)】		目標値	-	20	20	20	20	20			新型コロナウイルス感染症の動向に注意し、4/24にのいち駅、夜須駅発の「吉良川の町並みとジオを巡るポタリング(室戸市)」を開催する。また、5月、10月も先行を変えて開催を予定している。市としてもHP等を通してイベントの周知を行っていく。
		実績値	11	22								
		達成(評価)(o)	-	A								
	【実施主体】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle 香南市	【連携する分野】 観光分野 / 商業分野 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	R2年度の具体的な事業内容	R元年度中 : 土佐くろしお鉄道と調整(完了後募集周知開始) [香南市・NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle] R2 : イベント開催 [NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle] ※これまで香南市観光協会が主催で開催していたが、R2以降は事業予定をしていないことから、NPO法人 高知CyclingProject Maze-Cleが引き継ぎ、考案・調整し直し、開催を行う。 ※市広報による支援を実施 [香南市] 【R2年度】 10/31に「列車と自転車で旅するサイクルプラストレイン」を「童謡の里あき 弘田龍太郎の曲碑を巡る旅」として土佐くろしお鉄道とNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleが協力して開催。(参加者:22人)								
新規・拡大・継続	年度		基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【R3年度の取り組み内容】(A)	
3-3. イベント・大会の開催 (ポタリング) 【参加者数(人)】	目標値		-	240	240	240	240	240			引き続き、R3年度も毎月第2土曜日に一般市民を対象としたポタリングを市内を基点にNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleが開催していく。 ※ R3年度事業 : 12回(定員:15人/回)を予定 ※ 開催時期: 毎月第2土曜日 ※ 現在、新型コロナウイルス感染症のため、20人は入れる飲食店が限られている。 新型コロナウイルス感染症が落ち着くまでは15人定員で開催する。	
	実績値	26 (開催2回)	45									
	達成(評価)(o)	-	C									
【実施主体】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle 香南市	【連携する分野】 観光分野 / 商業分野 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	R2年度の具体的な事業内容	「カフェライド」として飲食店を目的地とした気軽に参加できるイベント。市内飲食店等の収益増につながるイベント・大会を開催。 R2.4月より開催 [毎月1回(年12回)開催。定員20人] ※目的地、ルートはその都度設定していく。 ※市広報による支援を実施 [香南市] 【R2年度】 毎月1回開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止と天候不順による中止から5回の開催となった。 8/8日(土) ほっと平山(香美市) : 参加者 5人 10/24日(土) いなかじかん(安田町) : 参加者 13人 11/14日(土) 古古(香美市) : 参加者 10人 2/27日(土) 音鳴神社(土佐市~須崎市) : 参加者 8人 3/27日(土) ログの宿(いの町) : 参加者 9人 ※未開催月は悪天候や新型コロナ感染症に配慮したため中止とした。									
新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【R3年度の取り組み内容】(A)	
3-4. イベント・大会の開催 (シクロクロスカップ) 【参加者数(人)】		目標値	-	120	150	150	150	150			ヤ・シバパークでのシクロクロスの大会は継続して行う。 物部川河川敷で実施予定のイベントは、高知県シクロクロス実行委員会として、人材と資金不足により運営が難しいことから、香南市の団体に運営(主催)をお願いしたいと依頼があった。市では、運営できる団体の捜索に向け、こうなんスポーツクラブ等を通じて声掛けを行い、運営団体を探すバックアップを行っていく。	
	実績値	119	-									
	達成(評価)(o)	-	-									
【実施主体】 高知県シクロクロス実行委員会 香南市	【連携する分野】 観光分野 / 商業分野 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	R2年度の具体的な事業内容	自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、出店や市内飲食店等の収益増につながる大会として開催。 R2.秋 : 開催に向けた調整(高知県シクロクロス実行委員会・香南市 連携)調整完了後募集周知開始 R3.1月 : 大会開催 ※市広報による支援を実施 [香南市] 【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、R2年度は大人数のイベント開催ができなかった。運営予算の関係上、人数を多く集める必要があるため、現状の開催が困難である。									

戦略の柱	◆取り組みの柱										各事業の根拠について	
	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)				
事業名称	目標値										A/B/C	
	実績値											
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)			
	3-5. イベント・大会の開催 (3市ロングライド) 【参加者数(人)】	目標値	-	準備等	100	150	200	300		R3.5月にコース選定および事業概要の設定を行うため3市と(一社)物部川IDMO協議会で試走会を開催する。		
	※ R3中の開催に向けた調整	実績値	-	-								
達成(評価) (○)		-	-									
【実施主体】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle (一社)物部川IDMO協議会 香南市・香美市・南国市	自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、市内飲食店・宿泊施設等の収益増につながる大会を開催。											
【連携する分野】 観光分野、商業分野	R2 : NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleが中心となり、開催に向けて南国市・香美市・香南市・(一社)物部川IDMO協議会・国土交通省・警察等関連機関と調整を行う ※調整終了後、募集周知開始 R3.11月 : イベント開催【実施主体は調整のうえ決定】 ※観光分野の物部川エリア観光連携事業と連携する											
県物部川アクションプランNO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	【R2年度】 R3年度の開催を(一社)物部川IDMO協議会とNPO法人高知CyclingProjectMaze-Cleで検討していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により大人数の開催ができないとの結論に至り中止を決定した。 R3年度以降、物部川流域3市(香南市・香美市・南国市)と一緒に、少人数の体験観光として取り組んでいく。											
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)			
4. サイクリングガイドの育成とサイクリストの誘致 【サイクリングガイド利用者数(人)】	目標値	-	活用推進計画で調整	推進計画策定後数値設定					R3.9月の自転車活用推進計画策定後、目標値を決定する。 サイクリングガイドの利用者数より、サイクリングガイドツアー数がKPI指数として適当と思われる。 また、R4.2月にサイクリングガイド講習会を、NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleが市内サイクリングコースを基点に2回開催する。			
※ R3中の開催に向けた調整	実績値	-	54									
達成(評価) (○)		-	-									
【実施主体】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle 香南市 サイクリングターミナル	■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 サイクリングガイドが市内の案内を実施する。 [NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle]											
【連携する分野】 観光分野	R2 : 自転車活用推進計画内でシステムの構築。[香南市] 年内中にサイクリングガイドの会(仮)を作り、ガイド育成と登録・管理を行う。 [NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle] ※ガイド育成はサイクリングターミナルを活用 R3 : 実働開始											
	【R2年度】 新型コロナウイルス感染症で会議等がスケジュールどおりに行えなかったため、自転車活用推進計画策定をR3年度へ繰り越した。 9/15日 高知県立大学サイクリングツアー(市・NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle)①19人 9/20日 高知県立大学サイクリングツアー(市・NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle)②23人 11/23日 第1回Funride塩の道Konan(県立山高等学校・NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle)12人 ▷ 計 54人 新型コロナウイルス感染症の関係で引率してのNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleの自主ツアーは決行していない。 自主企画ができなかったが、持ち込み企画が多かった。											
◆自転車を活用した健康づくり												
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)			
1. 健康サイクリングの開催 【参加人数(人)】	目標値	-	100	120	140	160	180		健康サイクリングの定期的な開催を促すために、7月から第1日曜日を「健康サイクリング開催の日」として定期的に開催していく。 また、サイクリングターミナルを主会場に、自転車を活用した座学として、健康対策課や大塚製薬(株)にも講師を依頼している。			
※ R3中の開催に向けた調整	実績値	25 (開催3回)	39									
達成(評価) (○)		-	C									
【実施主体】 香南市	県の健康パスポート事業を活用した健康サイクリングを年4回実施。 自転車を活用した健康に関することについて広報誌で啓発活動を行う。 【健康サイクリング開催時期】(年4回) R2 : 4月、5月、9月、10月に開催【サイクリングターミナルでの座学と実走】 募集人数25人。 【啓発活動実施時期】 : 年4回広報への掲載(健康サイクリング開催時期に合わせる)											
【連携する分野】 -	【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、4回の開催を予定していた健康サイクリングを年明けに3回の開催に変更し、NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleと協力して開催した。 しかし、天候不順もあり2回の開催となったため、目標値の達成には至っていない。 1/24日 : 雨天中止、1/31日 : 18人、2/7日 : 21人											
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)			
2. タンDEM自転車の利用推進 【タンDEM自転車講習会の参加者数(人)】	目標値	50	20	20	20	20	20		タンDEM自転車講習会をNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleと共に秋に開催する。			
※基準値 H30年度の実績値は、サイクリングでのレンタル数とイベント等に貸出し、体験をしていただいた数等が含まれているが、第2期では、毎年開催予定のタンDEM自転車講習会の参加者数に変更する	実績値	51	21									
達成(評価) (○)		A	A									
【実施主体】 香南市 サイクリングターミナル NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle	■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 タンDEM自転車を活用できる施設や事業(高齢者教室、婚活イベント等)と連携し、活用機会を拡大することにより、レンタルサイクル利用者増に繋げる。(参考:R1.11月に婚活イベントで活用) 【整備】 : R2.4月 : サイクリングターミナルにタンDEM自転車2台購入(旧式と入れ替え) [香南市] 【活用機会の拡大】 ①タンDEM自転車を売り込むと共に、活用したい施設の催しへ貸し出す。 [サイクリングターミナル] ②タンDEM自転車講習会を開催する(年1回以上) [香南市] ③タンDEM自転車のパイロット育成教室でスキルを得たパイロットを利用希望者に合わせて派遣する。 ※人員登録管理等はNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleで実施											
【連携する分野】 -	【R2年度】 【整備】 R2.6月 : タンDEM自転車2台購入 【活用機会の拡大】 ①オーテピア・とさてらす等の出張PRが企画されていたが、新型コロナウイルス感染症により中止。 ②NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleと協力して、10月18日(日)に開催。(参加者:21人) ③10月開催のタンDEM自転車講習会には募集以上の参加者が申込みしてくれ、「このような企画をまたしてほしい」と要望があった。 ④パイロットバンクは現在5人登録、のべ2回派遣。											
★自転車活用推進計画内で方針詳細を決定する。												

観光(サイクリスト誘致)

健康づくり(市民向けの取り組み)

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (R1/年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	〇具体的な取組	目標値	実績値						A/B/C		
健康づくり(市民向けの取り組み)	新規	拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
	3. 通勤等への自転車活用推進 【サイクルラック設置、駐輪場整備 事業者数(人)】	★自転車活用推進計画内で 方針詳細を決定する。	目標値	-	活用推進計 画で調整	推進計画策 定後数値 設定						R3年度にサイクリングサポーター制度を作成し、市民サイクリストを増やすため、市施設や市内観光施設・宿泊施設・飲食店等へサイクルラックを計画的に導入していく。
	【実施主体】 香南市	【連携する分野】 -	実績値	-	54							<p>■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 自転車は環境にやさしい乗り物であることを認知してもらい、通勤等に利用する人の増加を目指す。</p> <p>【取組内容】 R2…自転車活用推進計画策定 R3～サイクルラックを無償貸与。市内企業等が行う駐輪場整備に対しては補助を想定。</p> <p>【R2年度】 新型コロナウイルス感染症で会議等がスケジュールどおりに行えなかったため、自転車活用推進計画策定をR3年度へ繰り越した。 R2.12.28日：サイクルラックを購入。 ▷サイクルラック設置個所について、ただラックを配るだけではなく、サイクリングのまちとしてサイクリングサポーター制度を作成し、その中で、サイクルラックの設置を依頼していく。</p>
新規	拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
4. ヘルメット着用率の向上 【市民のヘルメット着用率(%)】	★自転車活用推進計画内で 方針詳細を決定する。	目標値	-	活用推進計 画で調整	推進計画策 定後数値 設定						自転車活用推進計画策定後、人生支援計画と連携し、R4年度から対象児童のヘルメット購入の補助を行えるように協議を行う。また、同時にヘルメットの着用の大切さが分かる動画を作成し、一緒にPRする。	
【実施主体】 香南市	【連携する分野】 人生支援計画	実績値	-	-							<p>■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 自転車の死亡事故のうち、損傷箇所トップである頭部を守るためヘルメット着用を推進する。これにより、万が一の事故に対する危険度を下げ、自転車利用者増加につなげる。 特に18歳以下の児童等については「高知県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」で着用努力義務化がうたわれている。 通学外でもヘルメットを自ら着用し、事故に対する意識を向上させる。 これにより、卒業後も自転車に理解がある社会人として市の自転車推進の一端を担ってもらう。 ※市内の自転車利用者のヘルメット着用率100%に向けた取り組み。 ※学校に関しては香南市教育委員会・学校と調整し進める。</p> <p>R2 : 自転車活用推進計画策定 R3.3月 : 市内児童・生徒に対し、通学外でもヘルメットを着用することを目的に、現購入補助(教育委員会)を通学者以外も対象とするよう補助制度を拡大する。(通学用ヘルメット兼)。一般(高校生以上)にも補助(50%)を用意する。 ※R元年度全児童生徒数…2,439人</p> <p>【R2年度】 新型コロナウイルス感染症で会議等がスケジュールどおりに行えなかったため、自転車活用推進計画策定をR3年度へ繰り越した。 自転車活用推進計画策定委員会でもヘルメットを被ることの重要性は話し合われている。 香南市教育委員会のやっているヘルメット補助金について現状を把握し、通学用については補助制度の拡大を必要がある。</p>	
新規	拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
5. 交通安全教室の開催 【開催回数(回)】	★自転車活用推進計画内で 方針詳細を決定する。	目標値	-	活用推進計 画で調整	推進計画策 定後数値 設定						自転車活用推進策定後、開催回数を決定する。また、R3年度も学校等は防災対策課と協力して開催していく。また、NPO法人高知CyclingProject Maze-CleでもR3.6月(2回)とR4.2月(2回)に自転車安全教室を実施する。	
【実施主体】 香南市 香南市交通安全指導員協議会 市内各学校 サイクリングターミナル	【連携する分野】 -	実績値	-	20							<p>■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 一般住民や市内全学校での交通安全教室を行い、自転車への理解を促し、次代を担う若者等への啓発を行う。一般向けは親子向けも企画してサイクリングターミナルを利用した座学も行う。</p> <p>R2 : 自転車活用推進計画策定 (策定中に教育委員会と調整し、全学校へカリキュラム導入を進め開催時期を設定する)</p> <p>R3以降 : 交通安全教室の開催 [学校向け…香南市・香南市交通安全指導員協議会・学校] [一般向け…香南市・サイクリングターミナル]</p> <p>【R2年度】 新型コロナウイルス感染症で会議等がスケジュールどおりに行えなかったため、自転車活用推進計画策定をR3年度へ繰り越した。 また、新型コロナウイルス感染症のため、学校等で開催の交通安全教室が秋開催となった。 これからの防災対策課と協力して行っていく。 9/1日 香我美小学校 9/3日 野市中学校 9/4日 野市保育所 10/1日 香我美中学校 10/2日 赤岡小学校 10/9日 赤岡保育所 10/13日 夜須幼稚園 10/14日 野市東保育所 10/15日 吉川小学校 吉川みどり保育所(合同実施) 10/16日 野市東幼稚園 10/20日 香我美幼稚園 10/28日 夜須保育所 2/5日 佐古保育所 2/16日 野市幼稚園 2/19日 野市保育所 計 15回 開催。</p>	
◆観光サイクリストの受入体制づくり(関係人口の育成)												
新規	拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
1. サイクルサポーター制度 【登録団体数】	★自転車活用推進計画内で 方針詳細を決定する。	目標値	-	10	5	5	5	5			R3年度はサイクルサポーター制度を構築し、「自転車のまち香南市」のイメージを市内に向けて共有を行う。 ①思いやり1.5mステッカーの配布 ②ヘルメット購入助成(一般補助) ③サイクルラック貸出 ④駐車場の整備補助 ⑤イベント等への協力を踏まえた体制作りを行う。	
【実施主体】 香南市	【連携する分野】 観光分野、商業分野	実績値	-	6							<p>■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 自転車利用促進に参画し、実際に活動してもらえ事業所・団体を対象とするサイクルサポーター(日常交通やサイクリストにやさしいサービス等を行う事業者や団体)制度を構築し、市内等で行われるイベント等にスタッフや出店者として参加してもらうことで、横のつながりを強化し、香南市の自転車事業促進を図る。</p> <p>R2 : 自転車活用推進計画策定(策定完了と同時に制度確定。その後登録・活動開始) 【要請イベント】 R2 : 冬開催のシクロクロスカップ R3.2月 : 三宝山ヒルクライム</p> <p>【R2年度】 両イベントとも新型コロナウイルス感染症のため中止となり活動実績はなし。 ※サイクルサポーター 6団体(いずれもサイクルオアシス登録団体) 道の駅やす・香南市サイクリングターミナル・絵金蔵・創造広場「アクランド」・県立のいち動物公園・羽尾大釜荘</p>	

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (1430年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称	〇具体的な取組	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	
	新規・拡大	継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	2-2. 道路環境整備 (施設や店舗への案内板整備) 【整備箇所数】	★自転車活用推進計画内で方針詳細を決定する。	目標値	-	活用推進計画で調整	整備開始					R3年度の自転車活用推進計画の現地調査で①・②の整備・要望箇所を確認する。自転車活用推進計画の策定後、①の整備や見直し、②の整備計画を計画的に行っていく。
	【実施主体】 香南市	【連携する分野】 観光分野、商業分野	実績値	-	-						
			達成(評価) (○)	-	-						
											<p>■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 ・市内観光施設や店舗への案内看板の設置を進め、サイクリストにやさしいまちづくりを推進。</p> <p>R2 : 自転車活用推進計画策定 [香南市] (計画内でブルーラインの敷設箇所、間隔、記載内容、使用ピクトグラム等を決定) ※国道・県道等への敷設調整を行う。</p> <p>R3以降 : ① 市内サイクリングコース8コースを対象として整備 [香南市] ② 国道・県道を対象とした「整備計画」を国・県と協議 [香南市]</p> <p>【R2年度】 自転車活用推進計画策定委員会では、「色々な色を使うよりブルーラインとして統一するほうが良い」との意見をいただいている。 また、路面にピクトグラム等を配置し誘導することも効果的であると話し合いが行われた。 R3年度の自転車活用推進計画の現地調査の中で確認をしていく。</p>
	新規・拡大	継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	2-3. 環境整備 (国や県と連携したハード整備) 【整備箇所数】		目標値	-	2	-	-	-	-		R3.5月開催の物部川流域3市と(一社)物部川DMO協議会での試走会を実施し、コースの「要望箇所や整備箇所」の選定を行う。
	【実施主体】 国土交通省四国地方整備局 高知県中央東土木事務所 香南市	【連携する分野】 観光分野	実績値	-	2						
			達成(評価) (○)	-	A						
											<p>国・県と連携して自歩道整備を進め、新しいサイクリングコースとして設定する。</p> <p>R2.5月 : ヤ・シィパーク西自歩道・連結道の整備完了(ヤ・シィパーク～岸本間) (実施主体:高知県中央東土木事務所)</p> <p>R2 : 物部川右岸河川敷自歩道整備(空港～戸板島間) (実施主体:四国地方整備局)</p> <p>※管理者と協議し、ルートにはサイクリングコース愛称をつける。[香南市] ※R3に予定している三市ロングライドイベントに活用する。 [香南市]</p> <p>【R2年度】 R2.6月にヤ・シィパーク西自歩道・連結道の整備完了 R2.7月に物部川右岸河川敷自歩道整備(空港～戸板島間)整備完了 今後も環境整備箇所があれば、国や県に要望していく。</p>
	新規・拡大	継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	3. サイクリングターミナルの活用、再整備 【-】	★自転車活用推進計画内で方針詳細を決定する。	目標値	-	活用推進計画で調整	活用整備開始					自転車活用推進計画策定後、計画的に活用・整備していくとともに、道の駅やすのレンタサイクル施設等と乗り捨てできるような連携をとる。
	【実施主体】 香南市	【連携する分野】 観光分野	実績値	-	-						
			達成(評価) (○)	-	-						
											<p>■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 自転車に特化した観光・交通安全教室等・合宿等を行うよう利活用を進める。</p> <p>R2 : 自転車活用推進計画策定 (計画内で施設の特徴を活かした利活用方法の再検討と利用方針の決定、再整備に向けた検討) 策定後即実施(策定前、策定中でも可能であることはR1中に確定させ即実施)</p> <p>R3以降 : 整備開始</p> <p>【R2年度】 自転車活用推進計画策定委員会では、道の駅やすにできるレンタサイクル施設と連携していくことが話合われた。 また、市民や観光客に活用してもらう自転車の更新を行った。</p>

環境整備(ハード整備)

数値目標1	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値	5年間の達成 (達成度合)	備考
-	目標値	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-	-	-	-	
	達成(評価)	-	-	-	-	-	-	-	-	

■取り組みの内容について

【R2年度の総括】

住環境整備において、住宅リフォーム推進事業では、住民への補助制度の周知が進み、利用率も高く、人気の高い取り組みとなっている。市営住宅に関する事業では、生活環境の改善及び公衆衛生の向上事業として、合併浄化槽への切替工事、手摺り等の設置工事を目標値20戸に対し22戸の実施をした。また、R3年度以降についても続けて22戸の実施を予定している。宅地造成事業においては、香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係性を重視しながら事業を進めている。耐震関係事業では、ある一定進んでいること等から、各事業の申請件数等は減少傾向にある。空き家対策に関する事業では、広報やホームページ掲載などによる周知のほか、空き家調査の効率化を図るため、まちづくり協議会に空き家情報の提供を依頼し、空き家情報の収集強化に努めた。収集した空き家情報は、今後、状態に応じて除却や空き家バンクへの登録による利活用を推進していく。また、各事業の実績については、制度が認知されてきたことなどにより、増加傾向にあり、目標値は達成している。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について
	事業名称 ○具体的な取組	目標値	実績値						A/B/C	
住環境の整備・支援	◆住環境の整備									
	新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)
	1. 住宅リフォーム推進事業 (香南市住宅リフォーム補助金) 【補助金額を含むリフォーム総事業費(万円)】 R2年度実績:11,263万円 ※補助金申請件数:113件 ※補助金交付決定額:1,459万円	目標値	-	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000		当補助金は、2年ごとに事業継続を見直すこととしており、R3年度・R4年度は継続して事業を実施する。また、本事業については、利用度も高く、市内経済に寄与していることから、R5年度以降についても継続する見込み。
	実績値	11,100	11,263							
	達成(評価) (C)	-	A							
【実施主体】 香南市(建設課) 【連携する分野】-	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合、その工事費用の20%(上限200千円)を補助する事業。また、R元年度より以前に補助金の交付を受けられた方で、上限200千円に達していない方は2回目の交付を受けられるようになっている。 ※当事業は2年更新の事業であり、次期更新検討はR3年度を予定している。見直しによって数値目標の下方修正の可能性もあるが、現時点では継続としている。 【R2年度】 R2年度補助金の実績は113件あり、15,000千円の枠に対し、14,597千円の交付がされた。当補助金を含む、リフォームにかかる総事業費は112,633千円であり、市内経済の発展に寄与している。								
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
2-1. 市営住宅の生活環境の改善及び公衆衛生の向上事業 【実施軒数(軒)】 【合併浄化槽+手すり工事】 ※R3年度の数値目標を20件から22件へ上方修正(R3年度より)	目標値	30	20	20	20	20	20		R2年度に設計した22戸の住宅に対して、合併浄化槽や手摺り等を設置する工事を行う。また、居住者から設置工事の承諾を得られる取り組みに着手し、22件の設置工事を行うように取り組む。 ※R3年4月現在で残り件数は104戸の見込み。	
実績値	14	22								
達成(評価) (C)	C	A								
【実施主体】 香南市(住宅管財課) 【連携する分野】-無し	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	市営住宅の生活環境の改善、及び公衆衛生の向上に向け、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として、手すりを新設する事業。 【R2年度】 22戸の吉川町の市営住宅に、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として、手すり等の設置工事を実施。また、R3年度に向けた設計も22件実施した。								
新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
2-2. 市営住宅の生活環境の改善及び公衆衛生の向上事業 【実施軒数(軒)】 【玄関ドア取替工事】 R3 NEW	目標値	-	-	48	検討	検討	検討		赤岡町中浜団地の48戸の玄関ドアが老朽化し、ドアの取替工事を行う、ドアにピッキング行為の防止機能を持たせ、防犯機能の向上を図る。R4年度以降については、R3年度中に住宅外部や建築設備の修繕が必要な団地を確認し設定を行う。	
実績値	-	-								
達成(評価) (C)	-	-								
【実施主体】 香南市(住宅管財課) 【連携する分野】-無し	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	市営住宅の生活環境の整備。団地全体の住宅の外部や建築設備(水道、電気設備等)が、老朽化や劣化のため生じた不具合を解消する工事を行う。 ※ R3からの新事業								

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	目標値								A/B/C		
	○具体的な取組	実績値										
住環境の整備・支援	新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
	3. 宅地造成整備事業 【箇所数】		目標値	-	-	-	-	-	1		概略検討資料を基に施設の検討や関係機関との調整等を行い宅地造成の実施設計に向けた作業に取り組む。	
	R2年度実績: 概略検討資料の作成		実績値	-	-							
			達成(評価) (C)	-	-							
	【実施主体】 香南市(建設課)		R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標数値である2060年の人口30,800人の維持に向け、関係機関と連携を図りながら、移住希望者の受け皿となる居住地の確保や市街地との人口格差解消のための新たな宅地の候補地の選定及び整備に取り組み、定住の促進を図る。								
	【連携する分野】 - 香南市都市計画マスタープラン			R2 : 当事業の方向性及び対象地等の選定等。 R3~ : R2年度の取り組みをより進めていく。								
				【R2年度】 事業規模を想定するための概略検討(造成平面計画作成・施設検討・概算工事費作成等)を行う必要があることから必要資料作成した。								
	◆住環境の整備耐震化事業											
	新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
	1. 住宅耐震診断事業 【補助金利用件数(件)】		目標値	120	60	60	60	60	60		・市広報、HPへの掲載 ・チラシ配布 ・自主防連絡会で周知 ・戸別訪問を実施。工事費が高額になる等の理由で申請を検討されている方等へは、低コスト工法の業者を紹介する。昼間不在の場合が多いので、可能な範囲で夕方の訪問を実施予定。 ・市イベント等でブース展示を行い、パネルや模型、チラシ等で住宅の耐震対策の重要性を周知する。	
・木造 香南市木造住宅耐震診断事業 ・非木造 香南市非木造住宅耐震診断費補助金		実績値	83	55								
※耐震が必要とされている残数(約300軒)を第2期計画間に対応していく。		達成(評価) (C)	B	B								
【実施主体】 香南市(防災対策課)		R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	・昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断費用を補助。 (木造: 自己負担3千円、非木造: 上限30千円) ・各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。									
【連携する分野】 (香南市耐震改修促進計画)			【周知方法】 市広報、HPへの掲載 チラシ配布、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、市のイベント等でブース展示									
			【R2年度】 ・市広報、HPへの掲載 ・チラシ配布 ・自主防連絡会で周知 ・戸別訪問の実施(工事費が高額になる等の理由で申請を検討されている方等へは、低コスト工法の業者を紹介) ・市イベントでブース展示を行い、パネルや模型、チラシ等で住宅の耐震対策の重要性を周知する。 ・耐震関係事業では、ある一定進んでいること等から、各事業の申請件数等は減少傾向にある。									
新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
2-1. 住宅耐震改修事業 (香南市住宅耐震改修工事費等補助金) 【設計数(件)】		目標値	90	60	60	60	60	60		・市広報、HPへの掲載 ・チラシ配布 ・自主防連絡会で周知 ・戸別訪問を実施。工事費が高額になる等の理由で申請を検討されている方等へは、低コスト工法の業者を紹介する。昼間不在の場合が多いので、可能な範囲で夕方の訪問を実施予定。 ・市イベント等でブース展示を行い、パネルや模型、チラシ等で住宅の耐震対策の重要性を周知する。		
		実績値	79	48								
		達成(評価) (C)	B	B								
【実施主体】 香南市(防災対策課)		R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	・住宅耐震診断事業の結果等で、木造については評点が1.0未満と診断された住宅(非木造については安全でないと判断された住宅)に対し、改修後の評点が1.0以上(非木造については安全性が確認された住宅)となるものについて、その設計費用を補助。 (設計 上限305千円) ・各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。									
【連携する分野】 (香南市耐震改修促進計画)			【周知方法】 市広報、HPへの掲載 チラシ配布、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、市のイベント等でブース展示									
			【R2年度】 ・市広報、HPへの掲載 ・チラシ配布 ・自主防連絡会で周知 ・戸別訪問の実施(工事費が高額になる等の理由で申請を検討されている方等へは、低コスト工法の業者を紹介) ・市イベントでブース展示を行い、パネルや模型、チラシ等で住宅の耐震対策の重要性を周知する。 ・耐震関係事業では、ある一定進んでいること等から、各事業の申請件数等は減少傾向にある。									

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称 ○具体的な取組	目標値								A/B/C		
		実績値										
住環境の整備・支援	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
	2-2. 住宅耐震改修事業 (香南市住宅耐震改修工事費等補助金) 【工事数(件)】	目標値	90	60	60	60	60	60		<ul style="list-style-type: none"> 市広報、HPへの掲載 ・チラシ配布 自主防連絡会で周知 戸別訪問を実施。工事費が高額になる等の理由で申請を検討されている方等へは、低コスト工法の業者を紹介する。昼間不在の場合が多いので、可能な範囲で夕方の訪問を実施予定。 市イベント等でブース展示を行い、パネルや模型、チラシ等で住宅の耐震対策の重要性を周知する。 		
		実績値	68	52								
		達成(評価) (C)	B	B								
【実施主体】 香南市(防災対策課)	【連携する分野】 (香南市耐震改修促進計画)	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	<ul style="list-style-type: none"> 住宅耐震診断事業の結果等で、木造については評点が1.0未満と診断された住宅(非木造については安全でない判断された住宅)に対し、改修後の評点が1.0以上(非木造については安全性が確認された住宅)となるものについて、その工事費用を補助。(工事 上限1,000千円) 各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。 <p>【周知方法】 市広報、HPへの掲載 チラシ配布、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、市のイベント等でブース展示</p> <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市広報、HPへの掲載 ・チラシ配布 自主防連絡会で周知 戸別訪問の実施 (工事費が高額になる等の理由で申請を検討されている方等へは、低コスト工法の業者を紹介) 市イベントでブース展示を行い、パネルや模型、チラシ等で住宅の耐震対策の重要性を周知する。 耐震関係事業では、ある一定進んでいること等から、各事業の申請件数等は減少傾向にある。 									
新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)			
3. コンクリートブロック塀等耐震対策事業 (香南市ブロック塀等耐震対策事業費補助金) 【補助事業数(件)】	目標値	30	25	25	25	25	25		<ul style="list-style-type: none"> 市広報、HPへの掲載 ・チラシ配布 自主防連絡会で周知 市広報やHPでブロック塀等の耐震対策の重要性を啓発し、点検の注意喚起を行う。 市イベント等で住宅耐震と併せてブロック塀等安全対策のブース展示もを行い、パネルやチラシ等で周知する。 住宅耐震の戸別訪問時にブロック塀耐震対策の補助制度の紹介も行う。 老朽住宅等除却事業の申請者や管理不全な空き家への所有者等が敷地内に危険性のあるブロック塀等も所有している場合、ブロック塀等耐震対策の補助制度の紹介もする。 			
	実績値	27	18									
	達成(評価) (C)	B	B									
【実施主体】 香南市(防災対策課)	【連携する分野】 (香南市耐震改修促進計画)	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	<ul style="list-style-type: none"> 避難路等に面している危険性のあるコンクリートブロック塀等を撤去したり、安全なフェンス等に造り替える経費に対して補助。(上限205千円) H30年6月の大阪府北部地震後に問い合わせが多数あり、コンクリートブロック塀耐震対策の必要性について住民の意識が高まった。 <p>【周知方法】 市広報、HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知</p> <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市広報、HPへの掲載 ・チラシ配布 ・自主防連絡会で周知 市広報やHPでブロック塀等の耐震対策の重要性を啓発し、点検の注意喚起を行う。 市イベントで住宅耐震と併せてブロック塀等安全対策のブース展示もを行い、パネルやチラシ等で周知。 住宅耐震の戸別訪問時にブロック塀耐震対策の補助制度も紹介。 老朽住宅等除却事業の申請者や管理不全な空き家への所有者等が敷地内に危険性のあるブロック塀等も所有している場合、ブロック塀等耐震対策の補助制度も紹介。 大阪府北部地震後には問い合わせが多数あったが、近年は減少傾向にある。 									
空き家対策への取り組み	◆ 空き家対策事業											
	新規・拡大・ 継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度末のあるべき姿】		
	1. 老朽住宅等除却事業 (香南市老朽住宅等除却事業費補助金) 【除却事業対象件数(件)】	目標値	40	30	30	30	30	30		<ul style="list-style-type: none"> 市広報、HPへの掲載 チラシ配布 自主防連絡会で周知 管理不全な状態の空き家への指導・助言時に補助制度の紹介 		
		実績値	28	35								
	達成(評価) (C)	B	A									
【実施主体】 香南市(防災対策課)	【連携する分野】 (香南市空家等対策計画)	R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)	<ul style="list-style-type: none"> 避難路等に面している又は延焼等により近隣住宅に影響する場所に存在する著しく老朽化した住宅等の除却に要する経費に対して補助。(補助率80%、上限1,645千円) ※老朽化した空き家の増加や制度が住民に広く認知されるようになってきている。 <p>【周知方法】 市広報、HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知</p> <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市広報、HPへの掲載 チラシ配布 自主防連絡会で周知 管理不全な状態の空き家への指導・助言時に補助制度の紹介 老朽化した空き家の増加や制度が住民に広く認知され増加傾向にある。 									

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	年度達成 (達成度合)	各事業の根拠について	
	事業名称	目標値								A/B/C		
	○具体的な取組	実績値										
空き家対策への取り組み	新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
	2. 空き家バンク事業 【空き家バンク新規登録件数(件)】		目標値	20 (延べ)	12	12	12	12	12		窓口での説明や市広報・HPへの掲載により制度の周知を継続して行うとともに、まちづくり協議会等地域と連携した空き家情報収集・調査を効率的に行い、空き家の掘り起こしから活用につなげるよう取り組む。	
	※基準値 第1期は数値目標を延べ登録件数としていたため、H28-30の延べ数を記載。 第2期は毎年12件の新規登録件数とする。 (参考)H30 新規登録件数 14件		実績値	32 (延べ)	12							
			達成(評価) (C)	A	A							
	【実施主体】 香南市(地域支援課)		まちづくり協議会や不動産業者等、地域との連携による空き家情報収集や移住相談員による活用可能な空き家調査を継続して実施し、空き家の掘り起こしを行うことで、市内空き家の有効活用を通じた移住希望者への住宅提供が出来るよう取り組んでいく。									
	【連携する分野】 (香南市空家等対策計画)		R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)									
			【周知方法】 相談窓口での制度説明、市広報・HPへの掲載、チラシの全戸配布等 【R2年度】 空き家の有効活用の推進を図るため、窓口での制度説明や市広報・HPへの掲載を行った。また、活用可能な空き家の掘り起こしを効率的に行い、バンク登録件数を増やすために、移住専門相談員による空き家調査のほか、まちづくり協議会に空き家調査への協力を依頼し、情報収集を行った。 (参考) H28～R2年度末の登録件数 : 累計 52件 (うち、移住者利用数 24件)									
	新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)	
	3-1. 空き家改修事業(空き家改修) (香南市空き家改修事業費等補助金) 【改修件数(件)】		目標値	3	3	3 →5	3 →5	3 →5	3 →5		市広報への掲載や、空き家バンク登録時の説明等により、継続して補助制度の周知に努めるとともに、今年度から補助金上限額を県に合わせて引き上げ、空き家の有効活用及び定住促進による地域活性化に取り組む。	
	※R3年度の数値目標を3件から5件へ上方修正(R3年度より)		実績値	2	8							
		達成(評価) (C)	B	A								
【実施主体】 香南市(地域支援課)		※ 空き家改修事業 : 国県財源措置あり 市の空き家バンクに登録している、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、耐震化を必須として、トイレの水洗化等住宅性能の向上のためのリフォームに要する費用を補助する。										
【連携する分野】 (香南市空家等対策計画)		R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)										
		【周知方法】 相談窓口での制度説明、市広報・HPへの掲載、チラシの全戸配布等 【R2年度】 窓口での制度説明や市広報・HPへの掲載、不動産業者との連携等、制度の周知を行ったことにより、実績数が増加した。 (参考) H29～R2年度末の改修件数 : 計 16件 (うち、移住者利用数 16件)										
新規・拡大・継続		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	【R3年度の取り組み内容】(A)		
3-2. 空き家改修事業(空き家修繕) (香南市空き家改修事業費等補助金) 【改修件数(件)】		目標値	2	2	2 →3	2 →3	2 →3	2 →3		市広報への掲載や、空き家バンク登録時の説明等により、継続して補助制度の周知に努め、空き家の有効活用及び定住促進による地域活性化に取り組む。		
※R3年度の数値目標を2件から3件へ上方修正(R3年度より)		実績値	0	3								
		達成(評価) (C)	C	A								
【実施主体】 香南市(地域支援課)		※ 空き家修繕等支援事業 : 一部県財源措置あり 市の空き家バンクに登録している、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、有耐震性を前提に空き家の軽微な修繕費(200千円以下で、空き家の通常使用による損耗等で居住に際し支障となる箇所の取替、朽ちた畳の交換、網戸の設置等)を補助する。										
【連携する分野】 (香南市空家等対策計画)		R2年度の具体的な事業内容 (P) (D)										
		【周知方法】 相談窓口での制度説明、市広報・HPへの掲載、チラシの全戸配布等 【R2年度】 窓口での制度説明や市広報・HPへの掲載等、制度の周知を行ったことにより、実績数が増加した。 (参考) R元～R2年度末の改修件数 : 計 4件 (うち、移住者利用数 4件)										